



2022年度 事業報告書

学校法人 桃山学院



2022 年度の事業報告にあたって

学校法人桃山学院 理事長 出田 善蔵

桃山学院は1884年、英国聖公会宣教協会(CMS)が大阪の川口外国人居留地(大阪市西区)に三一小学校(男子英学校)を創設したことに端を発します。以後、高等英学校や中学校の開設、キャンパスの移転など幾多の変遷を経て、昭和町キャンパスに中学校と高等学校、桃山学院大学あべのBDL(ビジネスデザイン・ラボ)を、和泉キャンパスに桃山学院大学・大学院を設置し、また、堺キャンパスに桃山学院教育大学を開設するに至っております。創設以来一貫して建学の主旨であるキリスト教精神に基づいた教育を行い、永い歴史のなかで有為な卒業生を多数輩出し社会から高い評価を得てきたことは、ステークホルダーの皆さまの変らぬご尽力の賜と心より感謝申し上げます。

2022年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大が日本社会および世界全体に多大な影響を及ぼしました。一方で、各設置校においては感染対策を十分に講じた上で原則対面授業とするなど、Withコロナ時代における適切な教育活動を見据え、学生・生徒の学修機会の確保に努めました。

さらに、国際情勢の急速な悪化により、人々の価値観も大きく変わりつつあります。2015年に国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)への理解浸透も相まって、社会課題の解決と経済成長の両立に向けた中長期的な取り組みが求められています。社会が、教育機関に期待する役割も変容しつつある、もしくはその兆しが見え始めているのかもしれません。

このような状況において、2023年度から始まる新たな5カ年計画である「桃山学院将来構想」を策定いたしました。本構想では、パーパス(教育機関としての存在意義)を次の通り掲げております。

「私たちは、キリスト教精神に基づく教育を通じて、社会課題の解決を目指す高い志と奉仕の心をもった人(サーバント・リーダー)を育て、持続可能な地域共生社会を実現します。」

このパーパスのもと、桃山学院は生徒・大学生層にとどまらずに、対象を横軸と縦軸に面的な展開を図ります。具体的には、横軸として南大阪、更には南関西(奈良・和歌山を含む)を基盤にしながら、縦軸として、小・中・高・大、ビジネス層などの社会人、シニア、外国人までを対象に、総合的な教育サービスを展開してまいります。

これにより、本学院は地域と共に発展し、人口問題、少子高齢化問題、外国人受け入れ問題などの地域の課題解決に寄与します。

本学院の主な取り組み

○事業計画と予算にかかるPDCAについて

理事会は、策定された事業計画に対してPDCAサイクルをまわしていくためにモニタリングを実施し、理事会および評議員会を中心にモニター情報を報告してきました。掲げた目標に対して進捗状況を共有することができ、計画に対しての実行を促進することができました。今後もより一層モニタリングの仕組みの構築に取り組み、掲げた目標が達成されるよう取り組んでまいります。

○キャンパス整備について

中長期保全計画にもとづき、安全確保、学生・生徒の満足度、快適性向上に資する改修を行いました。和泉キャンパスにおいては、聖トマス館及び教室棟空調機工事及び照明LED化工事、聖アンデレ館の南側エレベーターの更新、体育施設の改修を実施しました。また、キャンパスのカーボンニュートラル化に向けたロードマップの策定を行いました。

○ガバナンスの整備と職員人事制度改革について

2017年に制定した学校法人桃山学院「ガバナンスの方針」に基づき、ガバナンス検討会議より答申された具体案をもとに、2022年度は、理事会において、役員の損害賠償責任などに関する取り扱いを責任限定契約とする寄附行為の変更を行いました。

また、2021年度より、法人・桃山学院大学の専任職員を対象に、本俸等の改訂を含む新たな職員人事制度を導入しました。大学教員についても人事制度改革について継続的に検討を進めており、順次見直しを行う予定です。

予測困難で変化の激しい現代において、人材育成の点からも教育研究機関への期待が大きくなる一方で、少子化や経済状況の影響等により、私学をとりまく環境は年々厳しさを増し、新型コロナウイルス感染症および国際情勢悪化の影響はまだ続くものと想定されますが、本学院としましては、各設置校の永続性および発展性を担保し、かつ教育・研究活動の環境整備を支える堅固な財務基盤の構築を目指し、引き続き取り組んでまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

CONTENTS

I. 法人の概要	01	II. 事業の概要	04	III. 財務の概要	06
		1. 桃山学院大学		IV. データで見る桃山学院	18
		2. 桃山学院教育大学		V. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済支援・学習環境等支援	23
		3. 桃山学院中学校高等学校			



I. 法人の概要

1. 建学の精神

学校法人桃山学院の寄附行為には、「この法人は建学の主旨たるキリスト教精神に基づき、教育基本法、学校教育法および私立学校法に則り教育事業を行うことを目的とする。」(第3条第1項)と定められています。

■ 桃山学院の「キリスト教精神」—自由と愛の精神

桃山学院の学院章には、「SEQUIMINI ME」(我に従え)という言葉が刻まれています。それはアンデレがイエスに従ったように、「自由と愛の精神」をもって生きることです。使徒パウロが書いています。

「あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。」(ガラテヤの信徒への手紙5章13節)

自由には他者への愛と責任がともないます。「自由」とはひとりひとりの人格と主体性を尊重すること、「愛」とは互いに仕えあいながら他者と共に生きることです。この「自由と愛の精神」は、たんにキリスト教の立場だけではなく、すべての人間が一致する普遍的な理念であり、人類共通の目標です。

人間のそのような可能性を開花させながら、高い理想をめざしてチャレンジしつづけていくこと、それが桃山学院の一世紀を超える伝統がめざそうとする「キリスト教精神」であり、「世界の市民」への道なのです。

■ 桃山学院の「学院章」



この学院章は、イエス・キリストの最初の弟子である聖アンデレ (St. Andrew) にちなんでデザインされている。「アンデレ・クロス」(X字型の十字架) は、イエスの教えを守り通して殉教したアンデレの偉大な生涯のシンボルである。「SEQUIMINI ME」(「我に従え」というラテン語) は、アンデレがイエスに出会った時に呼びかけられた言葉である。したがって学院章は、アンデレのように最後まで「自由と愛」のキリスト教精神によって生きることを示している。

2. 沿革

1884年	英国聖公会宣教協会(CMS)、大阪川口居留地(大阪市西区川口)に三一小学校(Boys' School)創設	2001年	桃山学院高等学校、国際コース設置(男女共学)
1890年	高等英学校、西区江戸堀の仮校舎で開校(同年末天王寺区筆ヶ崎町に移転、翌年1月新校舎開校式挙行)	2002年	桃山学院大学、法学部法律学科設置/桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(博士後期課程)設置
1895年	高等英学校を桃山学院に改称	2003年	桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(博士後期課程)設置
1896年	桃山学院に改称	2006年	桃山学院大学、経済学部経済学科中国ビジネスキャリアコース設置/桃山学院大学大学院、経営学研究科経営学専攻日中連携ビジネスコース設置(2018年廃止)、文学研究科英語英米文学専攻・比較文化学専攻を英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻の3専攻に改組
1902年	中学校令による認可を受け、私立桃山中学校開校(※大阪で最初の私立中学校)	2007年	桃山学院高等学校、S英数コース設置(男女共学)、標準コースにアスリートクラス設置、英数コースを男女共学化
1912年	現昭和町キャンパス(大阪市阿倍野区)に移転	2008年	桃山学院中学校開校(昭和町キャンパス)/桃山学院大学、文学部を国際教養学部に変更
1947年	新制桃山中学校発足	2009年	学院創立125周年・大学開学50周年記念式典挙行、記念式典に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Rowan Douglas Williams)臨席
1948年	新制桃山高等学校発足	2011年	桃山学院高等学校、標準コースを文理コースに改称(同時に男女共学化)
1949年	桃山学院高等学校、桃山学院中学校に校名変更	2012年	桃山学院大学大学院、文学研究科英語圏文化学専攻・国際文化学専攻・応用言語学専攻(博士前期課程)を比較文化学専攻に改組
1951年	学校法人桃山学院認可	2015年	桃山学院大学、国際教養学部国際教養学科を英語・国際文化学科に改称
1959年	桃山学院大学(経済学部経済学科)、昭和町キャンパスで開学。開学式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Geoffrey Francis Fisher)臨席	2017年	プール学院大学の設置者を本学院に変更する申請が認可
1962年	桃山学院英語学校開校(1983年閉校)	2018年	桃山学院教育大学(教育学部教育学科)、堺キャンパス(堺市南区横塚台)で開学/桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士前期課程)を言語・文化専攻に改称
1966年	桃山学院大学、社会学部社会学科設置	2019年	桃山学院大学、本町BDL(ビジネスデザインラボ、大阪市中央区)に経営学部ビジネスデザイン学科設置(増設)、学院創立135周年・大学開学60周年
1971年	桃山学院大学、登美丘キャンパス(堺市東区西野)に学舎統合	2020年	桃山学院教育大学、教育学部教育学科を人間教育学部人間教育学科に改称/桃山学院大学、経営学部ビジネスデザイン学科をあべのBDL(ビジネスデザイン・ラボ、大阪市阿倍野区)に移転
1973年	桃山学院大学、経営学部経営学科設置/桃山学院短期大学開学(1990年閉学)	2021年	桃山学院大学、ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)
1984年	学院創立100周年記念式典	2022年	桃山学院大学、社会学部社会福祉学科をソーシャルデザイン学科に改称
1987年	桃山学院高等学校、英数コース設置/桃山学院大学、チャペル地割式に英国聖公会カンタベリー大主教(Dr. Robert Runcie)臨席		
1989年	桃山学院大学、文学部英語英米文学科・国際文化学科設置		
1993年	桃山学院大学大学院、文学研究科英語英米文学専攻・国際文化学専攻(修士課程)、経営学研究科経営学専攻(修士課程)設置		
1995年	桃山学院大学および法人事務局、和泉キャンパス(和泉市まなび野)に全面移転		
1998年	桃山学院大学、社会学部社会福祉学科設置(増設)/桃山学院大学大学院、経済学研究科応用経済学専攻(修士課程)設置		
1999年	桃山学院大学大学院、文学研究科比較文化学専攻(博士後期課程)、経営学研究科経営学専攻(博士後期課程)設置		
2000年	桃山学院大学大学院、社会学研究科応用社会学専攻(修士課程)設置		



1. 法人の概要

■ 聖公会とは

聖公会とは、ローマ・カトリックとプロテスタントに大別される西方キリスト教会の中で、両者の要素を兼ね備えた英国聖公会（Church of England）の流れをくむ教派です。現在、ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、太平洋など世界約165ヶ国の国々で活動を展開し、約8,500万人の信徒数を有する組織で、カンタベリー大主教（現在のカンタベリー大主教は、ジャスティン・ウェルビー主教で第105代）を精神的指導者と位置づけています。

このような世界的な組織の中の一つが、日本聖公会です。日本においては、主教・司祭・執事の三職位の聖職や伝道師・宣教師・聖職候補生ら約270名の教役者が約300の教会・礼拝堂・伝道所に遣わされ、キリスト教の宣教活動に加え、様々な教育・医療・社会福祉などの事業を全国各地で行っており、教会では約2万人の信徒が信仰を守っています。

桃山学院は日本聖公会関係学校協議会に加盟しており、加盟校には、立教学院、立教女学院、香蘭女学校、聖路加国際大学、柳城学院、平安女学院、プール学院、松蔭女子学院、八代学院などがあります。

その他の関係施設では、聖路加国際病院、新生病院、聖バルナバ病院はよく知られており、また、多くの社会福祉法人や幼稚園・認定こども園等もあり、日本社会に貢献しています。

3. 設置する学校・学部・学科等（2022年5月1日現在）

◆桃山学院大学

学部

国際教養学部／英語・国際文化学科
社会学部／社会学科、ソーシャルデザイン学科
法学部／法律学科
経済学部／経済学科
経営学部／経営学科
ビジネスデザイン学部／ビジネスデザイン学科

大学院

文学研究科（博士前期・後期課程）
社会学研究科（博士前期・後期課程）
経済学研究科（博士前期・後期課程）
経営学研究科（博士前期・後期課程）

◆桃山学院教育大学

人間教育学部／人間教育学科（幼児教育課程、小学校教育課程、健康・スポーツ教育課程）

◆桃山学院中学校

6年一貫コース（選抜、進学）

◆桃山学院高等学校

S英数コース、英数コース、文理コース、国際コース、中高一貫コース

4. 校地・校舎等の概要

(1)校地等所在地（2023年3月31日現在）

名 称	所 在 地
法人事務局	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 [和泉キャンパス]
桃山学院大学	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 [和泉キャンパス]
	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-57 聖テモテ館4階～9階 [あべのBDL]
桃山学院大学大学院	〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 [和泉キャンパス]
桃山学院教育大学	〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台4-5-1 [堺キャンパス]
桃山学院中学校高等学校	〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64 [昭和町キャンパス]※聖テモテ館1階～3階含む



和泉キャンパス

(2)土地・建物面積（2023年3月31日現在）

名 称	土地面積(㎡)	建物床面積(㎡)
和泉キャンパス	149,056.00	86,166.65
松尾寺グラウンド	35,384.00	719.91
堺キャンパス	37,431.00	17,370.66
昭和町キャンパス	26,395.00	45,319.97
その他土地（奈良/滋賀/長野）	8,254.00	—
計	256,520.00	149,577.19



堺キャンパス



昭和町キャンパス



5. 役員・評議員の概要 (2023年3月31日現在)

(1) 役員 (定員 理事: 11名以上15名以内、監事: 3名)

理事長	出田 善蔵				
学院長	磯 晴久				
常務理事	岡田 賢三	中辻 努	中西 正人	中野 瑞彦	
理事	(非常勤) 磯 晴久	／桃山学院長			
	(常勤) 中野 瑞彦	／桃山学院大学長			
	(常勤) 中西 正人	／桃山学院教育大学長			
	(常勤) 岡田 賢三	／桃山学院高等学校長			
	(常勤) 中辻 努	／桃山学院事務局長			
	(非常勤) 内田 望				
	(非常勤) 上原 猛				
	(常勤) 藤見 昌宏	／桃山学院高等学校教頭			
	(常勤) 巖 圭介	／桃山学院大学副学長			
	(非常勤) 田尻 忠邦				
	(非常勤) 山崎 周子				
	(常勤) 出田 善蔵	／桃山学院理事長			
	(非常勤) 藤林 光夫				
	(非常勤) 飼馬 誠				
	(非常勤) 山田 陽彦				
監事	(非常勤) 岸脇 淳介				
	(常勤) 木下 洋一				
	(非常勤) 戸松 幹孝				

(2) 評議員 (定員 30名以上36名以内)

桃山学院長	磯 晴久								
桃山学院大学長	中野 瑞彦								
桃山学院大学副学長	巖 圭介								
桃山学院大学の各学部長	島田 克彦	木下 栄二	伊藤 潔志	小池 誠	田中 志津子	菊地 昌弥			
桃山学院教育大学長	中西 正人								
桃山学院教育大学学部長	中村 浩也								
桃山学院高等学校長	岡田 賢三								
桃山学院事務局長	中辻 努								
桃山学院中学校高等学校教員	藤見 昌宏	生田 耕三							
事務職員	山中 一雄	原 徹	嶋田 剛						
卒業生	田尻 忠邦	上田 信夫	宗川 暢一	上原 猛	藤原 達治郎	奥田 通雄			
日本聖公会教役者または信徒	宇野 哲夫	齊藤 壹	原田 光雄	内田 望					
学識経験者	馬越 かよ子	石川 清	藤原 睦代	相間 靖三	山崎 周子				

6. 教職員の概要 (2022年5月1日現在)

(1) 教員数

	学 部	教 授	准教授	講 師	計	共通教育機構 契約教員	兼任講師	チャブレン
桃山学院大学	国際教養	12	12	2	26	15	245	1
	社会	16	19	0	35			
	法	14	3	3	20			
	経済	16	13	5	34			
	経営	18	6	4	28			
	ビジネスデザイン	8	3	3	14			
	計	84	56	17	157			
	学 部	教 授	准教授	講 師	助 教	計	兼任講師	チャブレン
桃山学院教育大学	人間教育	22	15	4	2	43	93	1
	教諭(※1)	常勤講師	英語科特別教員	計	兼任講師			
桃山学院中学校高等学校	80	24	1	105	65			

※1: チャブレン1名を含む

(2) 職員数

所 管	専 任	特定業務	契 約	派 遣	パート・アルバイト	実習助手	計
法人事務局	28 (※1)	4	10	7	5	0	54
桃山学院大学	60	1	25	26	17	3	132
桃山学院教育大学	15	1	11	8	2	0	37
桃山学院中学校高等学校	7	0	2	3	5	2	19
計	110	6	48	44	29	5	242

※1: 出向者1名を含む



II. 事業の概要

II. 事業の概要

1. 桃山学院大学

■ 教育理念

桃山学院大学では、開学以来「キリスト教精神に基づいて人格を陶冶し、世界の市民として広く国際的に活躍し得る人材の養成」を建学の精神とし、つねに行動力のある「世界の市民」の養成につとめてきました。これまで経験したことのない、新しい国際時代を迎えた今日、言語や文化の違いを超えた「地球社会」への積極的な貢献こそが、本学に求められる重要な使命（ミッション）であると考えます。



学長 中野 瑞彦

■ ミッションステートメント（社会的使命）

桃山学院大学は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、ここに集うすべての人の多様な価値観を認め合いながら、向上心を絶やさず、みずから考え、積極的に行動する世界の市民を育てることを使命とする。

■ 学長、副学長、学部長、研究科長（2022年度）

学長：中野 瑞彦	経済学部長：島田 克彦
副学長：巖 圭介	社会学部長：名部 圭一（～12月14日）
副学長：辻井 誠人	社会学部長：木下 栄二（12月15日～）
副学長：辻本 法子	経営学部長：伊藤 潔志
副学長：角谷 嘉則	国際教養学部長：小池 誠
	法学部長：田中 志津子
	ビジネスデザイン学部長：菊地 昌弥
	経済学研究科長：辻 洋一郎
	社会学研究科長：小野 達也
	経営学研究科長：山田 伊知郎
	文学研究科長：小野 良子

■ 主要課題への取り組み

1. 学部教育改革

今般の学部教育改革の目的は、本学の教育内容を社会のニーズに応えつつ社会貢献に資する内容とし、本学が目指す学生像を育成するための学修体系に変え、学生および本学受験者層にわかりやすく訴求できるようにすることにあります。同時に、本学での学修と出口（卒業後の進路）およびキャリアへの結び付きを、学生および本学受験者層が理解しやすい体系とすることを目指します。2022年度は、これらの目的実現のために、カリキュラムの再構築を行うと同時に、学びの趣旨・狙いを自覚しやすくする工夫を行いました。また、課題解決型学修を積極的に取り入れ地域の課題発見や解決に参画し、高校への探求型授業の提供を通して高大連携に資することができました。

2. 共通教育改革

- 英語教育改革プロジェクト・チームにおいて、英語科目の見直し、および学修成果の可視化を念頭においた測定方法を導入した新しい英語教育カリキュラムの検討を行いました。
- ICT作業部会において検討の結果、2023年度秋学期に申請対象科目となる「データサイエンス基礎（2単位）」（和泉キャンパス）をオンデマンド授業として開講することとし、関連する学則改訂を行いました。なお、あべのBDLにおいては「データサイエンス入門（2単位）」として同じシラバスで開講されます。
- DX授業の推進、オンデマンド化については、上記のとおり「データサイエンス基礎」を基礎教育科目として全学開講することで社会人基礎力の強化に繋がります。

3. 研究改革

優れた個別研究を表彰するため「学長学術表彰制度規程(案)」を策定しましたが、学長学部長会での意見聴取の結果、修正を要することとなり、2023年度での成立を目指しております。本規程は学生との共同研究も対象としており、研究成果を大学ホームページへ掲載することとしています。

4. 教育研究資産改革

- 学部長のサポート体制強化として学部担当課長を配置し、一定の教職協働の効果を上げることができました。
- 2023年度より学生カルテを活用し、専任教職員による学生支援を強化することを決定しました。
- 図書館や学生スペースの確保、教室の整備等については、学院将来構想計画に連動させて継続して検討を進めます。

※各学部学科および各研究科の「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」については、大学ホームページにて公表しています。

2. 桃山学院教育大学

■ 教育理念

桃山学院教育大学は、すべての学生が、本学の生活を通じて人間として成長・成熟し、自分自身の人生を自覚した責任あるものとして生きていく力（我の世界を生きる力）、有能な社会人として生きる力（我々の世界を生きる力）をつける「人間教育」をめざしています。その上で、教育者として社会的使命を果たすべく、知識や技能、思考力や問題解決力等を指導できる「実践的な力」に加え、「人間教育」へ導く力を涵養します。



学長 中野 瑞彦

■ ミッションステートメント（社会的使命）

キリスト教精神に基づく人間教育を実現し、自らを磨き、人生を主体的に生き抜く個人の育成を使命とする。

■ 学長、副学長、学部長（2022年度）

学長：中西 正人
副学長：比嘉 悟
学部長：中村 浩也

■ 主要課題への取り組み

1. 教育内容の充実

①新コース、新プログラムの着実な運用と展開

2年目となる新コース（国語教育コース、英語教育コース）については、2年次からのコース分属を経て、各コースのカリキュラムに則り授業を実施しました。また、チーム学校を支援するための新プログラム（教育相談実践基礎プログラム、日本語教員養成プログラム、部活動指導者養成プログラム）については、履修ガイダンス時に各プログラムリーダーによって、これらの内容を学生に説明した結果、2021年度末時点と比べて履修登録者が大幅に増加しました。

②ICT 教育環境整備

2021年度新入生よりパソコンの必携化をして2年目となる2022年度は、情報リテラシー等授業利用可能ソフトおよび実習指導(保体)等での利用ソフトの導入、iPad(授業で利用)へのソフトインストール等を行いました。また、GIGAスクール構想で大きく変化している学校現場に対応するため、ICT教育に対応した教室を設置しました。

③基礎学力向上への支援

低年次の段階において、学生個々の学力状況に応じ授業および授業外での理解が不十分なところを補完し学習することのできるAI搭載型のe-ラーニングシステムを導入しました。システムの導入等による支援の結果、基礎的教養に不安のあった学生の基礎学力が向上しました。

2. 教員採用試験合格対策

教職センターの指導体制強化や同センターと授業との連携、および学生の努力もあり、2022年度も教員・保育士の採用試験の現役合格者が増加しました。

3. 地域等との連携強化(自治体、教育委員会、企業等)

新たに6件の自治体や高等学校との連携協定を締結しました。ま

た、連携事業については、大阪府をはじめとする自治体や、企業等とも積極的に実施しました。様々な団体との連携を強化した結果、2022年度は人間教育演習において対象者全員が実習に参加することができました。

4. 国際交流プログラム(オンライン研修)の充実

新型コロナウイルスの感染状況を常に確認しつつ、国際交流プログラムについて、2023年2月に派遣留学(フィリピン研修:参加学生3名、引率なし、カンボジア研修:参加学生7名、引率2名)を実施しました。また、2021年度に引き続き、海外の提携先などと連携し、国内で実施が可能なオンライン研修を行いました。

5. 桃大との連携

桃山学院大学の充実した施設を活用した授業、就職活動の拠点であるあべのサテライトでの就職イベント、国際交流など、2022年度も連携しました。

※「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」については、大学ホームページにて公表しています。

3. 桃山学院中学校高等学校

■ 教育方針

桃山学院中学校高等学校では、キリスト教精神を教育の大きな柱として、生徒一人ひとりの人格を尊重し、健やかな心身の成長と豊かな学力の形成をめざすことで社会のために責任ある一員となる人物を育てることを教育の基本方針としています。生徒を信頼し、自由を尊重する民主的な校風のもと、のびのびと学生生活を送ってもらうことで、自らの責任を自覚し、自主的な規律を持ち、それを守っていく良識ある若者を育てていきます。



学校長 岡田 賢三

■ ミッションステートメント(社会的使命)

桃山学院中学校高等学校は、自由と愛の精神に基づく学びの場として、生徒一人ひとりを大切に、個々の生徒が持つ多様な可能性を開花させ、健全な社会の実現に貢献できる若者を育成することを使命とする。

■ 校長、教頭、チャプレン、部長、主任 (2022年度)

校長	岡田 賢三		
高校教頭	藤見 昌宏		
中学教頭	生田 耕三		
チャプレン	義平 雅夫	高校3学年主任	谷村 憲貴
教務部長	北野晋一郎	高校2学年主任	井上 昌彦
生活指導部長	李 哲秀	高校1学年主任	塩田 北斗
進路指導部長	川田久美子	中学主任代表	加藤 智宏
自治会指導部長	濱井 俊行		

■ 主要課題への取り組み

1. 進路指導の充実

国公立大学への合格に繋げるための進路指導として、きめ細やかな担任面談や適切な資料・情報提供を継続的にを行っています。東京大学・京都大学を目指す生徒のための新コースとして成績上位者を対象としたS選抜の設置が認可されたことで、一貫コースを含めた全コースにおける最上位クラスが2023年度から稼働します。それに対する教員側の体制も万全なものになるよう検討され、授業担当者なども学年を縦断して配置されています。また、医学部進学のためのサポートとして、中学生・高校生の保護者・生徒を対象とした医学部進学のための説明会も実施し、好評を得ました。

2. 教員の指導力の向上

- ・新任教員(専任2名 常勤9名)が〔授業研究所〕セミナーを受講しました。
- ・生徒対象の授業アンケートも実施し、それぞれの評価を教科等で共有、指導力向上に繋げました。また、年間2回の授業見学強化週間を実施しました。
- ・教員向け「FINDアクティブラーナー」の動画視聴を促進することで、教員としてのスキルアップを図りました。

3. グローバル教育の推進

米国聖公会関係学校との交換留学制度において2名の留学生を受け入れ、本校より1名を派遣しました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、文理・英数コースのカナダ短期研修、マレーシア研修、そして国際コース・クラスAの台湾研修は中止となりました。国際コース・クラスAのカナダ短期留学、クラスBの長期留学、ニュージーランド研修は実施しました。

4. SDGs 活動への取り組み

- ・スクール・バイ・スクール(2001年に設立された海外に学校を建設するプロジェクト)の活動において、JR天王寺駅北側で街頭募金を数回行いました。またボランティアイベントに参加したり、勉強会を行ったりしました。さらに校内でクリスマス募金などを行い、集まった募金を聖公会関連施設「守口ぶどうの家」に寄付しました。
- ・リメイク活動(生徒が学内施設を補修する活動)は、7月・12月でF館1階の下足室を塗装しました。関西ペイント(株)に初めて企画に協力いただきました。高校HPにて詳細情報を掲載中です。
- ・教職員向けAED講習会は実施しましたが、響プロジェクト(講演会)・思春期講座は、新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できませんでした。
- ・使い捨てカイロを再生利用しての水質改善運動の活動として、「使い捨てカイロの回収・解体作業」、「GoGreenCubeを用いた忠岡町役場溜め池の水質浄化活動」、「忠岡町キッズクラブのこどもたちと一緒に水圏環境教育活動」を継続し、新たに「GoGreenCubeを用いた世界遺産である百舌鳥・古市古墳群のお濠の水質浄化活動」、「海と日本プロジェクトin大阪の水質調査体験のサポート」、「放置ビニール傘のリサイクル活動」、「キューズモールと協力し学外文化祭を運営、昆虫食ブースを出展(2022年10月22,23日に実施)」の活動を開始しました。高校HPにて詳細情報を掲載中です。
- ・近隣の子ども食堂に通う児童に本校生徒が学習指導を行う取り組みを4月に実施しましたが、6月にその子ども食堂を運営していた店舗が移転したため、今後の子ども食堂に関する計画は未定です。



Ⅲ. 財務の概要

Ⅲ. 財務の概要

私立学校法および学校法人会計基準に基づき作成した計算書類について、その概要を以下のとおり記載し報告いたします。

なお、ここでの数値比較は、資金収支計算書および事業活動収支計算書につきましては予算額を、貸借対照表につきましては前年度残高をもとにしています。また、各資料に用いた数値はそれぞれ千円単位未満を四捨五入しているため、合計額が一致しないことがあります。

■ 学校法人会計について

学校法人は教育研究活動を第一の目的とし、経費の大部分を学生からの学費や税金を原資とした補助金で賄っているため、極めて公共性の高い法人といえます。その公共性の高さから、企業が営利を主たる目的とするのとは異なり、学校法人は利益の獲得を目的とすることはありません。そのため、学校法人会計では、収支の均衡の状態および財政状態を正確に把握し、公共性の高い法人として持続的な発展を図ることが主な目的になっています。

■ 基本金について

学校法人が教育研究活動を行っていくためには資産（校地・校舎・機器備品・現金預金）の維持・充実が必要不可欠です。そのために必要な金額を教育研究計画に基づき、負債とならない学校法人全体の収入の総額（以下、事業活動収入）から組入れたものが「基本金」です。「基本金」には以下の4種類があります。

第1号基本金：自己資金で取得した固定資産の額（校地、校舎、機器備品、図書等の固定資産として保有）

第2号基本金：将来、固定資産を取得するために事前に留保した資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

第3号基本金：基金として継続的に保持・運用する資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

第4号基本金：学校法人の円滑な運営に必要な運転資金として保持する資産の額（現金預金、有価証券等の引当資産として保有）

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は当該会計年度の諸活動における全ての収入と支出を明らかにして、支払資金の顛末をあらわす計算書です。この計算書の特徴は収入と支出を全て現金預金で行われたものとみなして表示し、実際には当該年度の現金預金の収支ではない期末未収入金、前期末前受金、期末未払金などを資金収支の調節勘定として差引調整計算することで期末現金預金残高を翌年度繰越支払資金として表示する所に特徴があります。

【収入の部】		【単位：千円】		
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	9,426,363	9,429,704	△ 3,341	
手数料収入	244,098	192,672	51,426	
寄付金収入	40,317	61,302	△ 20,985	
補助金収入	2,368,258	2,340,059	28,199	
資産売却収入	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	37,590	36,249	1,341	
受取利息・配当金収入	19,067	18,953	114	
雑収入	108,694	121,743	△ 13,049	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	1,717,754	1,740,231	△ 22,477	
その他の収入	257,587	266,529	△ 8,942	
資金収入調整勘定	△ 1,817,549	△ 1,826,960	9,411	
前年度繰越支払資金	9,942,454	9,942,454		
収入の部合計	22,344,633	22,322,936	21,697	

【支出の部】		【単位：千円】		
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	6,495,163	6,449,094	46,069	
教育研究経費支出	3,538,446	3,259,493	278,953	
管理経費支出	699,780	675,985	23,795	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	63,795	66,430	△ 2,635	
設備関係支出	156,108	141,892	14,216	
資産運用支出	200,000	200,000	0	
その他の支出	502,974	502,303	671	
予備費	27,368		27,368	
資金支出調整勘定	△ 270,811	△ 332,530	61,719	
翌年度繰越支払資金	10,931,810	11,360,268	△ 428,458	
支出の部合計	22,344,633	22,322,936	21,697	

【概 況】

2022年度の決算は、収入の部合計で2,169万円減少の223億2,293万円となりました。これは主に「手数料収入」および「補助金収入」の減少によるものです。「補助金収入」については、桃山学院高等学校の「地方公共団体補助金収入」が2,850万円増加したものの、桃山学院大学および桃山学院教育大学において、「高等教育の修学支援新制度」の対象者が予測を下回ったことなどから「国庫補助金収入」が法人全体で6,069万円減少したことが主な減少要因となります。

一方、支出の部では「教育研究経費」が2億7,895万円減少しました。これは経費削減に努めたことに加えて、「高等教育の修学支援新制度」の対象者が予測を下回ったことで奨学金支出が大幅に減少したこと、課外活動や留学支援などコロナ禍前の水準まで事業規模が回復しなかった業務が発生したことなどによるものです。このように収入減を上回る支出減の結果、翌年度繰越支払資金は4億2,845万円増加の113億6,026万円となりました。



資金収支における勘定科目について

<資金収入の部>

学生生徒等納付金収入	授業料・入学金等の在学を条件として義務的にかつ一律に納付される収入
手数料収入	入学試験・編転入学試験および各種証明書の発行の際に徴収する収入
寄付金収入	金銭等の寄付による収入
補助金収入	国や地方公共団体およびこれに準ずる機関から交付される補助金
資産売却収入	固定資産等の売却にかかる収入
付随事業・収益事業収入	学校法人の補助活動事業、附属事業、受託事業および収益事業などからの収入
受取利息・配当金収入	預金、貸付金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入
借入金等収入	学校債の発行や銀行等からの借入金による収入
前受金収入	翌年度入学の生徒にかかる学生生徒等納付金収入やその他の前受による収入
その他の収入	各種特定資産からの繰入収入や貸付金回収収入、預り金等
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対する収入ではあるが、実際の資金の収入が前年度以前にあったものまたは翌年度以降になるもの

<資金支出の部>

人件費支出	教職員(アルバイト等含む)に支給する本俸、期末手当、その他手当および専任教職員の退職金財団掛金等
教育研究経費支出	教育研究のために要する消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費等の経費
管理経費支出	教育研究経費以外の消耗品費、光熱水費、旅費交通費、広告費等の経費
借入金等利息支出	借入金等の利息の返済にかかる支出
借入金等返済支出	借入金等の元金の返済にかかる支出
施設関係支出	資産運用の目的で取得するものを除く、土地・建物等の取得にかかる支出
設備関係支出	機器備品、図書等の取得にかかる支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得にかかる支出
その他の支出	貸付金、仮払金等の上記支出以外の支出
予備費	予算化されていない突発的な事象に対応するための経費
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出ではあるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは翌年度以降になるもの

2. 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は資金収支計算書の内容を3つの活動区分(教育活動、施設整備等活動、その他の活動)に区分し、活動区分ごとに資金の流れを明らかにするための資料です。

その中でも、教育活動の区分は、学校法人のいわゆる本業にあたる部分となり、教育活動資金収支差額は、本業での資金の顛末を明らかにしています。

</

【概 況】

活動区分資金収支計算書は資金収支計算書に記載されている資金収入および資金支出の額を3つの活動ごとに区分して記載した計算書です。はじめに学校法人の本業にあたる「教育活動による資金収支」の収支差額は18億7,707万円となりました。次に「施設整備等活動による資金収支」については、キャンパス更新工事に伴う施設関係支出6,643万円、情報機器などの備品や図書の購入に伴う設備関係支出1億4,189万円を計上したことにより、施設整備等活動資金収支差額は4億5,879万円の支出超過となりました。それらの要因に財務活動や預り金の受払い等の経過的な活動を記載する「その他の活動による資金収支」を加算した結果、支払資金の増減額は14億1,781万円の増加となりました。



III. 財務の概要

3. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は当該会計年度の活動に対応する「事業活動収入」および「事業活動支出」の内容と、基本金組入後の均衡の状態を明らかにする計算書類です。この計算書で用いられる「事業活動収入」とは学校法人の負債とならない収入であり、「事業活動支出」は実際には現金預金の支出を伴わない減価償却額や退職給与引当金繰入額などを含めた金額となります。

【単位：千円】

	科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	収入の部 事業活動	学生生徒等納付金	9,426,363	9,429,704	△ 3,341
		手数料	244,098	192,672	51,426
		寄付金	39,867	54,378	△ 14,511
		経常費等補助金	2,349,882	2,321,683	28,199
		付随事業収入	37,590	36,249	1,341
		雑収入	108,694	118,324	△ 9,630
		教育活動収入計	12,206,494	12,153,010	53,484
	支出の部 事業活動	人件費	6,563,021	6,504,717	58,304
		教育研究経費	4,774,796	4,557,736	217,060
		管理経費	861,462	845,272	16,190
徴収不能額等		0	0	0	
教育活動支出計	12,199,279	11,907,724	291,555		
教育活動収支差額	7,215	245,286	△ 238,071		
教育活動外収支	収入の部 事業活動	受取利息・配当金	19,067	18,953	114
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	19,067	18,953	114
	支出の部 事業活動	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	19,067	18,953	114	
	経常収支差額	26,282	264,239	△ 237,957	

【単位：千円】					
	科 目	予 算	決 算	差 異	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	20,319	34,512	△ 14,193
		特別収入計	20,319	34,512	△ 14,193
	支出の部	資産処分差額	49,997	52,896	△ 2,899
		その他の特別支出	230	234,931	△ 234,701
		特別支出計	50,227	287,827	△ 237,600
	特別収支差額		△ 29,908	△ 253,315	223,407
	予備費		53,744		53,744
	基本金組入前当年度収支差額		△ 57,370	10,924	△ 68,294
	基本金組入額合計		△ 52,183	△ 45,154	△ 7,029
当年度収支差額		△ 109,553	△ 34,230	△ 75,323	
前年度繰越収支差額		△ 4,612,887	△ 4,612,887	0	
基本金取崩額		57,671	46,561	11,110	
翌年度繰越収支差額		△ 4,664,769	△ 4,600,556	△ 64,213	
(参考)					
事業活動収入計		12,245,880	12,206,476	39,404	
事業活動支出計		12,303,250	12,195,551	107,699	

【概 況】

事業活動収入では、予算額に比して3,940万円の減少となりました。これは主に「手数料」および「経常費等補助金」の減少によるものです。「経常費等補助金」の減少については、桃山学院大学および桃山学院教育大学において、「高等教育の修学支援新制度」の対象者が予測を下回ったことが主な要因となります。

事業活動支出では、過年度からのシステム不具合により一部の固定資産について、減価償却額が過少に計上されていたことが判明し、過年度未償却額として2億3,470万円を「過年度修正額（その他の特別支出）」に計上しました。しかしながら、予備費の未使用額5,374万円や教育研究経費などの減少がこれを上回り、事業活動支出計は予算対比で1億769万円減少の121億9,555万円となりました。

「教育研究経費」の減少は既述の通り、経費削減に努めたことに加えて、「高等教育の修学支援新制度」の対象者が予測を大幅に下回り奨学費が減少したこと、課外活動や留学支援などコロナ禍前の水準まで事業規模が回復しなかった業務が発生したことなどによるものです。

このように収入減を上回る支出減の結果、基本金組入前当年度収支差額は1,092万円の収入超過となり、事業活動収支差額比率は0.1%となりました。

なお、基本金組入額は、4,515万円となり、その主な内容は図書や備品関係などの恒常的な取得資産の他にキャンパス更新工事に伴う組入があげられます。

事業活動収支における勘定科目について

<事業活動収入の部>

学生生徒等納付金	資金収支に同じ
手数料	資金収支に同じ
寄付金	資金収支に現物寄付を加えた額（施設設備に係る寄付金・現物寄付を除く）
経常費等補助金	施設設備補助金以外の補助金
付随事業収入	学校法人の補助活動事業、附属事業および受託事業などからの収入
雑収入	資金収支に同じ
受取利息・配当金	資金収支に同じ
その他の教育活動外収入	収益事業などからの収入
資産売却差額	資産売却収入が、当該資産の帳簿残高を超えた場合、その超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金・現物寄付、施設設備補助金及び過年度修正額（前年度以前の収入または支出の修正額で当年度の収入となるもの）などによる収入
事業活動収入	学校法人に帰属する負債とならない全ての収入
基本金組入額	第1号から第4号までの基本金の組入額の合計

<事業活動支出の部>

人件費	資金収支の人件費支出から退職金支出を除き、退職給与引当金繰入額を加えた額
教育研究経費	資金収支の教育研究経費支出に減価償却額を加えた額
管理経費	資金収支の管理経費支出に減価償却額を加えた額
減価償却額	教育研究経費、管理経費共通の科目であり固定資産の当年度の減価償却額の合計
借入金等利息	資金収支に同じ
資産処分差額	資産を売却したその代価が帳簿残高を下回った場合、その差額や資産を売却した際の除却額
その他の特別支出	災害損失や過年度修正額（前年度以前の収入または支出の修正額で当年度の支出となるもの）などによる支出
予備費	資金収支に同じ
事業活動支出	上記支出の合計額
基本金組入前当年度収支差額	事業活動収入から事業活動支出を差し引いたもの

4. 貸借対照表

貸借対照表は当該年度末時点での資産・負債・基本金・繰越収支差額の内容を明確にし、学校法人全体の財政状態を把握することを目的としています。また、学校法人では固定資産が主要な財産の大部分を占めているため、ほとんどの一般企業が採用している「流動性配列法」ではなく、固定資産から配列していく「固定性配列法」を採用しています。

(資産の部)		【単位：千円】		
科 目	2022年度末	2021年度末	増減	
固定資産	75,946,606	77,317,381	△ 1,370,775	
有形固定資産	52,167,028	53,704,850	△ 1,537,822	
土地	23,442,579	23,442,579	0	
建物	21,712,160	22,985,989	△ 1,273,829	
構築物	429,152	483,004	△ 53,851	
機器備品(教育研究用・管理用)	773,265	983,757	△ 210,491	
図書	5,809,097	5,808,167	930	
車両	775	1,355	△ 580	
特定資産	23,669,219	23,469,219	200,000	
第3号基本金引当特定資産	2,225,606	2,225,606	0	
減価償却引当特定資産	17,240,000	17,040,000	200,000	
将来構想資金引当特定資産	3,613	3,613	0	
その他の引当特定資産	4,200,000	4,200,000	0	
その他の固定資産	110,359	143,312	△ 32,953	
長期貸付金	86,592	90,107	△ 3,514	
その他(施設利用権他)	23,766	53,206	△ 29,439	
流動資産	11,524,750	10,206,996	1,317,754	
現金預金	11,360,268	9,942,454	1,417,814	
未収入金	86,224	195,980	△ 109,756	
その他(前払金他)	78,258	68,562	9,696	
資産の部合計	87,471,356	87,524,377	△ 53,021	

(負債及び純資産の部)		【単位：千円】		
科 目	2022年度末	2021年度末	増減	
固定負債	3,545,773	3,564,467	△ 18,694	
長期未払金	728,795	806,631	△ 77,836	
退職給与引当金	2,816,978	2,757,836	59,142	
流動負債	2,787,537	2,832,788	△ 45,251	
未払金	372,837	360,110	12,727	
前受金	1,740,231	1,740,132	99	
その他(預り金他)	674,469	732,545	△ 58,077	
負債の部合計	6,333,310	6,397,255	△ 63,945	
基本金	85,738,603	85,740,009	△ 1,407	
繰越収支差額	△ 4,600,556	△ 4,612,887	12,331	
純資産の部合計	81,138,046	81,127,122	10,924	
負債及び純資産の部合計	87,471,356	87,524,377	△ 53,021	
純資産構成比率(純資産/総資産)		92.8%	92.7%	

【概 況】

有形固定資産では、法人全体で2億832万円の設備投資を実施したものの、減価償却額がそれを上回り有形固定資産全体で15億3,782万円の減少となりました。特定資産では、減価償却引当特定資産に2億円の繰入を実施したことにより、前年度から2億円増の236億6,921万円を計上することとなりました。その他の固定資産では、本町サテライト閉室に伴い差入れ保証金が2,943万円減少しました。その結果、固定資産は13億7,077万円減少し、759億4,660万円となりました。

流動資産では、大規模な設備投資が無かったことなどから現金預金が増加し、14億1,781万円増加の113億6,026万円を計上しました。その結果、資産の部合計は5,302万円減少し、874億7,135万円となりました。

負債の部では、固定負債における長期未払金(ファイナンスリース資産)が減少し、流動負債においても預り金の減少により、負債合計で6,394万円の減少となりました。

結果、純資産額は2021年度末に比して、1,092万円増加の811億3,804万円となり、純資産構成比率は92.8%となりました。

貸借対照表における勘定科目について

有形固定資産	土地・建物・構築物・機器備品・図書等
特定資産	各種特定資産
その他の固定資産	長期貸付金、長期に保有する有価証券等
流動資産	現金預金、短期貸付金、前払金等

固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
基本金	第1号～第4号基本金
繰越収支差額	当年度末における収支差額の累積額



III. 財務の概要

5. 財務状況の推移

(1) 連続資金収支計算書 (2017年度～2022年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
資金収入						
学生生徒等納付金収入	8,100,228	8,635,006	8,572,638	8,668,969	9,153,867	9,429,704
手数料収入	241,293	303,548	315,835	239,136	234,420	192,672
寄付金収入	49,153	56,628	78,919	170,936	47,391	61,302
補助金収入	1,549,094	1,659,087	1,609,088	2,117,466	2,346,961	2,340,059
資産売却収入	0	0	512	0	0	0
付随事業・収益事業収入	69,936	110,260	84,909	12,313	21,234	36,249
受取利息・配当金収入	19,444	23,802	23,283	18,754	15,681	18,953
雑収入	425,614	346,508	267,151	297,672	269,501	121,743
借入金等収入	0	0	0	0	0	0
前受金収入	1,488,676	1,498,034	1,476,207	1,796,126	1,740,132	1,740,231
その他の収入	4,511,892	4,965,622	584,048	1,536,071	520,915	266,529
資金収入調整勘定	△ 1,793,826	△ 1,705,544	△ 1,729,681	△ 1,758,679	△ 1,990,910	△ 1,826,960
前年度繰越支払資金	7,901,935	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454
収入の部合計	22,563,438	23,575,695	21,461,083	21,781,325	21,049,407	22,322,936
資金支出						
人件費支出	6,180,664	6,367,080	6,363,173	6,416,043	6,570,163	6,449,094
教育研究経費支出	2,282,202	2,418,089	2,572,138	3,253,655	3,109,825	3,259,493
管理経費支出	2,282,747	883,045	803,235	792,226	827,209	675,985
借入金等利息支出	0	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0	0
施設関係支出	739,237	2,311,800	2,127,014	2,253,798	130,660	66,430
設備関係支出	770,084	429,762	292,603	479,956	120,706	141,892
資産運用支出	3,500,000	500,000	500,000	500,000	200,000	200,000
その他の支出	262,329	1,228,882	435,567	338,956	464,158	502,303
資金支出調整勘定	△ 1,136,569	△ 741,140	△ 315,208	△ 943,524	△ 315,768	△ 332,530
翌年度繰越支払資金	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268
支出の部合計	22,563,438	23,575,695	21,461,083	21,781,325	21,049,407	22,322,936



(2) 連続活動区分資金収支計算書 (2017年度～2022年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
教育活動による資金収支	収入						
	学生生徒等納付金収入	8,100,228	8,635,006	8,572,638	8,668,969	9,153,867	9,429,704
	手数料収入	241,293	303,548	315,835	239,136	234,420	192,672
	特別寄付金収入	35,704	32,420	20,925	55,376	26,293	41,496
	一般寄付金収入	9,557	14,412	45,947	61,236	14,678	12,228
	経常費等補助金収入	1,489,328	1,629,909	1,559,899	2,050,547	2,332,174	2,321,683
	付随事業収入	69,885	110,181	84,909	12,313	21,234	36,249
	雑収入	424,036	343,718	267,151	297,567	269,241	121,743
	教育活動資金収入計	10,370,031	11,069,194	10,867,303	11,385,144	12,051,907	12,155,774
	支出						
	人件費支出	6,180,664	6,367,080	6,363,173	6,416,043	6,570,163	6,449,094
	教育研究経費支出	2,282,202	2,418,089	2,572,138	3,253,655	3,109,825	3,259,493
	管理経費支出	2,282,747	883,045	803,001	785,357	827,209	675,755
	教育活動資金支出計	10,745,614	9,668,214	9,738,313	10,455,055	10,507,196	10,384,342
	差引	△ 375,583	1,400,980	1,128,990	930,089	1,544,711	1,771,432
	調整勘定等	772,279	△ 389,969	△ 112,159	298,703	△ 13,406	105,638
	教育活動資金収支差額	396,696	1,011,011	1,016,831	1,228,791	1,531,305	1,877,070
施設整備等活動による資金収支	収入						
	施設設備寄付金収入	3,892	9,796	12,047	54,324	6,420	7,578
	施設設備補助金収入	59,766	29,178	49,189	66,919	14,787	18,376
	施設設備売却収入	0	0	512	0	0	0
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	3,000,000	0	0	0	0	0
	将来構想資金引当特定資産取崩収入	750,000	4,150,000	0	630,404	0	0
	施設整備等活動資金収入計	3,813,658	4,188,974	61,748	751,647	21,207	25,954
	支出						
	施設関係支出	739,237	2,311,800	2,127,014	2,253,798	130,660	66,430
	設備関係支出	770,084	429,762	292,603	479,956	120,706	141,892
	減価償却引当特定資産繰入支出	500,000	500,000	500,000	500,000	200,000	200,000
	将来構想資金引当特定資産繰入支出	3,000,000	0	0	0	0	0
	施設整備等活動資金支出計	5,009,321	3,241,563	2,919,617	3,233,754	451,366	408,322
	差引	△ 1,195,663	947,411	△ 2,857,869	△ 2,482,107	△ 430,160	△ 382,368
	調整勘定等	172,204	178,659	△ 22,566	597,908	△ 25,855	△ 76,430
	施設整備等活動資金収支差額	△ 1,023,459	1,126,070	△ 2,880,435	△ 1,884,199	△ 456,015	△ 458,798
小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		△ 626,763	2,137,081	△ 1,863,604	△ 655,407	1,075,291	1,418,272
その他の活動による資金収支	収入						
	その他の活動資金収入計	457,246	444,406	390,463	692,880	256,184	88,898
	支出						
	その他の活動資金支出計	49,675	86,055	22,473	29,670	79,453	89,125
	差引	407,572	358,350	367,990	663,210	176,731	△ 227
	調整勘定等	0	0	0	△ 150	218	△ 231
	その他の活動資金収支差額	407,572	358,350	367,990	663,060	176,949	△ 458
支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)		△ 219,191	2,495,432	△ 1,495,614	7,653	1,252,240	1,417,814
前年度繰越支払資金		7,901,935	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454
翌年度繰越支払資金		7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268

Ⅲ. 財務の概要

(3) 連続事業活動収支計算書 (2017年度～2022年度)

【法人全体】

【単位：千円】

科 目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	8,100,228	8,635,006	8,572,638	8,668,969	9,153,867	9,429,704
		手数料	241,293	303,548	315,835	239,136	234,420	192,672
		寄付金	45,261	47,502	67,622	117,257	41,862	54,378
		経常費等補助金	1,489,328	1,629,909	1,559,899	2,050,547	2,332,174	2,321,683
		付随事業収入	69,885	110,181	84,909	12,313	21,234	36,249
		雑収入	419,325	304,152	267,151	240,405	253,140	118,324
		教育活動収入計	10,365,320	11,030,298	10,868,054	11,328,627	12,036,696	12,153,010
	事業活動支出の部	人件費	6,137,494	6,311,369	6,378,394	6,280,357	6,522,202	6,504,717
		(内、退職給与引当金繰入額)	(454,765)	(257,821)	(295,881)	(251,050)	(280,963)	(180,604)
		教育研究経費	3,127,781	3,451,528	3,692,208	4,419,676	4,378,258	4,557,736
		(内、減価償却額)	(845,578)	(1,032,769)	(1,119,318)	(1,165,376)	(1,267,544)	(1,297,742)
		管理経費	2,357,213	972,468	909,245	919,191	986,798	845,272
		(内、減価償却額)	(74,466)	(89,423)	(106,243)	(133,835)	(159,589)	(169,363)
		徴収不能額等	1,074	670	10	30	0	0
	教育活動支出計	11,623,562	10,736,035	10,979,857	11,619,254	11,887,259	11,907,724	
教育活動収支差額		△ 1,258,242	294,264	△ 111,802	△ 290,627	149,437	245,286	
教育活動外収支	収入の部	事業活動 受取利息・配当金	19,444	23,802	23,283	18,754	15,681	18,953
		その他の教育活動外収入	51	79	0	0	0	0
		教育活動外収入計	19,495	23,881	23,283	18,754	15,681	18,953
	支出の部	事業活動 借入金等利息	0	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額		19,495	23,881	23,283	18,754	15,681	18,953
経常収支差額		△ 1,238,747	318,145	△ 88,520	△ 271,874	165,119	264,239	
特別収支	収入の部	事業活動 資産売却差額	0	0	494	0	0	0
		その他の特別収入	4,165,455	45,248	65,593	219,453	29,608	34,512
		特別収入計	4,165,455	45,248	66,087	219,453	29,608	34,512
	支出の部	事業活動 資産処分差額	20,309	26,563	164,062	101,569	54,759	52,896
		その他の特別支出	0	0	233	6,870	0	234,931
		特別支出計	20,309	26,563	164,296	108,438	54,759	287,827
	特別収支差額		4,145,146	18,685	△ 98,209	111,015	△ 25,150	△ 253,315
基本金組入前当年度収支差額		2,906,399	336,830	△ 186,728	△ 160,859	139,968	10,924	
基本金組入額合計		△ 7,578,152	△ 1,868,163	△ 1,992,883	△ 1,827,081	△ 139,052	△ 45,154	
当年度収支差額		△ 4,671,753	△ 1,531,333	△ 2,179,612	△ 1,987,940	916	△ 34,230	
前年度繰越収支差額		2,749,041	1,077,288	△ 454,046	△ 2,633,515	△ 4,621,455	△ 4,612,887	
基本金取崩額		3,000,000	0	142	0	7,652	46,561	
翌年度繰越収支差額		1,077,288	△ 454,046	△ 2,633,515	△ 4,621,455	△ 4,612,887	△ 4,600,556	
(参考)								
事業活動収入計		14,550,270	11,099,427	10,957,424	11,566,834	12,081,986	12,206,476	
事業活動支出計		11,643,871	10,762,598	11,144,152	11,727,693	11,942,018	12,195,551	

【概 況】

2021年度から桃山学院大学と桃山学院教育大学で認められた入学定員増に伴い学生生徒等納付金は増加傾向にあります。また3年目を迎えた「高等教育の修学支援新制度」の影響もあり経常費等補助金は制度開始前に比して増加しています。同様に教育研究経費においても同制度の実施に伴い奨学費が増加し、2020年度の新棟竣工（聖テモテ館）に伴う減価償却額増も加わり、教育研究経費としては増加傾向にあります。

2022年度には、システムの不具合による過年度の減価償却未償却額として2億3,470万円を「過年度修正額（その他の特別支出）」に一括計上しましたが、安定した収入増もあり、経常収支差額は2億6,423万円の収入超過となり、特別収支差額を加えた基本金組入前当年度収支差額においても1,092万円の収入超過となりました。なお、当年度の収支状況を示す事業活動収支差額比率は0.1%となりました。（財務比率の推移については、『6. 財務比率の推移』を参照）



(4) 連続貸借対照表 (2017年度～2022年度)

【単位：千円】

科 目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
資産の部						
固定資産	78,818,799	76,457,583	77,676,174	78,551,103	77,317,381	75,946,606
有形固定資産	50,865,529	52,461,821	53,496,154	54,927,233	53,704,850	52,167,028
土地	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579	23,442,579
建物	20,230,175	20,613,376	20,101,828	23,856,935	22,985,989	21,712,160
構築物	511,989	577,575	491,045	555,614	483,004	429,152
備品（教育研究用・管理用）	1,089,935	1,180,727	1,118,356	1,240,939	983,757	773,265
図書	5,589,181	5,644,602	5,704,946	5,829,073	5,808,167	5,809,097
車両	1,669	2,962	2,832	2,094	1,355	775
建設仮勘定	0	1,000,000	2,634,568	0	0	0
特定資産	27,749,623	23,799,623	23,999,623	23,469,219	23,469,219	23,669,219
第2号基本金引当特定資産	0	0	0	0	0	0
第3号基本金引当特定資産	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
奨学資金引当特定資産	2,200,000	1,900,000	1,600,000	1,300,000	1,100,000	1,100,000
退職給与引当特定資産	2,900,000	2,900,000	2,900,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000
減価償却引当特定資産	15,340,000	15,840,000	16,340,000	16,840,000	17,040,000	17,240,000
危機管理対策資金引当特定資産	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
将来構想資金引当特定資産	4,784,017	634,017	634,017	3,613	3,613	3,613
その他の固定資産	203,647	196,139	180,398	154,651	143,312	110,359
長期貸付金	167,044	127,756	112,015	101,446	90,107	86,592
その他（施設利用権他）	36,603	68,383	68,383	53,206	53,206	23,766
流動資産	8,169,752	10,480,699	8,992,291	9,042,144	10,206,996	11,524,750
現金預金	7,682,744	10,178,176	8,682,562	8,690,214	9,942,454	11,360,268
未収入金	397,283	216,264	231,043	281,868	195,980	86,224
短期貸付金	41,703	32,222	26,154	19,392	14,731	13,397
その他（前払金他）	48,023	54,037	52,533	50,669	53,831	64,861
資産の部合計	86,988,552	86,938,282	86,668,465	87,593,247	87,524,377	87,471,356
負債の部						
固定負債	2,876,677	3,191,907	3,188,109	3,673,082	3,564,467	3,545,773
長期借入金	0	0	0	0	0	0
学院債（発行予定金）	0	0	0	0	0	0
長期未払金	8,613	339,989	320,970	884,467	806,631	728,795
退職給与引当金	2,868,064	2,851,919	2,867,140	2,788,615	2,757,836	2,816,978
長期前受金	0	0	0	0	0	0
流動負債	3,113,963	2,411,633	2,332,343	2,933,011	2,832,788	2,787,537
短期借入金	0	0	0	0	0	0
短期学院債	0	0	0	0	0	0
未払金	1,096,634	366,493	282,659	347,181	360,110	372,837
前受金	1,488,676	1,498,034	1,476,207	1,796,126	1,740,132	1,740,231
その他（預り金関係他）	528,653	547,107	573,477	789,705	732,545	674,469
負債の部合計	5,990,640	5,603,541	5,520,452	6,606,093	6,397,255	6,333,310
純資産の部						
基本金	79,920,623	81,788,786	83,781,528	85,608,609	85,740,009	85,738,603
第1号基本金	76,987,095	78,709,207	80,701,948	82,529,029	82,660,429	82,659,023
第2号基本金	0	0	0	0	0	0
第3号基本金	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606	2,225,606
第4号基本金	707,922	853,973	853,973	853,973	853,973	853,973
繰越収支差額	1,077,288	△454,046	△2,633,515	△4,621,455	△4,612,887	△4,600,556
純資産の部合計	80,997,911	81,334,741	81,148,012	80,987,154	81,127,122	81,138,046
負債及び純資産の部合計	86,988,552	86,938,282	86,668,465	87,593,247	87,524,377	87,471,356

【概 況】

本学院は借入金ゼロの財政状態であり、長期的な財務の健全性を示す純資産構成比率も2022年度は92.8%と高く、2021年度の大学法人の全国平均（医歯系法人を除く）88.0%と比べても安定した財務基盤であることを示しています。また、短期的な財務の健全性を示す流動比率も同全国平均の262.9%よりも良好な413.4%となっており、長期・短期ともに安定した財務状態であるといえます。（財務比率の推移については、『6. 財務比率の推移』を参照）



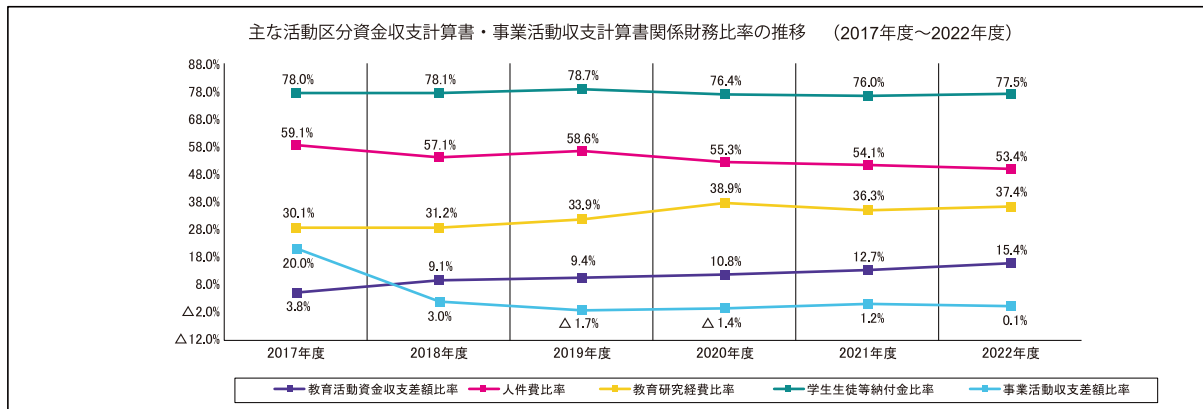
III. 財務の概要

6. 財務比率の推移

(1) 活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書関係財務比率

比 率	算 式	評価	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1 教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	↑	3.8%	9.1%	9.4%	10.8%	12.7%	15.4%
2 人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	↓	59.1%	57.1%	58.6%	55.3%	54.1%	53.4%
3 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経 常 収 入}}$	↑	30.1%	31.2%	33.9%	38.9%	36.3%	37.4%
4 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経 常 収 入}}$	↓	22.7%	8.8%	8.3%	8.1%	8.2%	6.9%
5 学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経 常 収 入}}$	～	78.0%	78.1%	78.7%	76.4%	76.0%	77.5%
6 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	↑	20.0%	3.0%	△ 1.7%	△ 1.4%	1.2%	0.1%
7 経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経 常 収 入}}$	↑	△ 11.9%	2.9%	△ 0.8%	△ 2.4%	1.4%	2.2%

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い ～:どちらとも言えない

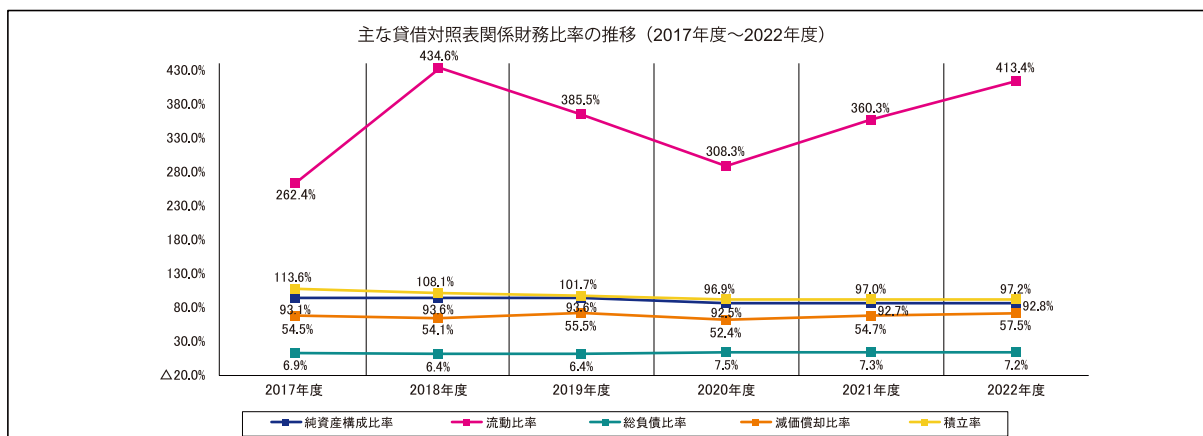


(2) 貸借対照表関係財務比率

比 率	算 式	評価	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1 純資産構成比率	$\frac{\text{純 資 産}}{\text{負債+純資産}}$	↑	93.1%	93.6%	93.6%	92.5%	92.7%	92.8%
2 固定比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{純 資 産}}$	↓	97.3%	94.0%	95.7%	97.0%	95.3%	93.6%
3 流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	↑	262.4%	434.6%	385.5%	308.3%	360.3%	413.4%
4 総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	↓	6.9%	6.4%	6.4%	7.5%	7.3%	7.2%
5 減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額 (図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格 (図書を除く)}}$	～	54.5%	54.1%	55.5%	52.4%	54.7%	57.5%
6 前受金保有率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$	↑	516.1%	679.4%	588.2%	483.8%	571.4%	652.8%
7 基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	↑	100.0%	100.0%	100.0%	99.3%	99.3%	99.4%
8 積立率	$\frac{\text{運 用 資 産}}{\text{要 積 立 額}}$	↑	113.6%	108.1%	101.7%	96.9%	97.0%	97.2%
9 運用資産余裕比率 (年)	$\frac{\text{運 用 資 産 - 外 部 負 債}}{\text{事業活動支出}}$	↑	2.9	3.0	2.8	2.6	2.6	2.7

<注> 評価について ↑:高い値が良い ↓:低い値が良い ～:どちらとも言えない

「運用資産」=現金預金+特定資産+有価証券 「外部負債」=総負債-(退職給与引当金+前受金) 「要積立額」=減価償却累計額+退職給与引当金+第2号基本金+第3号基本金



7. その他

(1) 寄付金の状況

2022年度の寄付金活動は、皆様からの温かいご支援により、総額70,514千円のご寄付がありました。本学院の寄付金活動に対して、皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。ご支援いただきました寄付につきましては、ご指定いただいた目的に応じて活用させていただきます。

引き続き、本学院の生徒・学生支援および教育研究環境整備のために、寄付金活動を進めてまいりたいと考えています。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

(ア) 2022年度寄付金受け入れ状況について

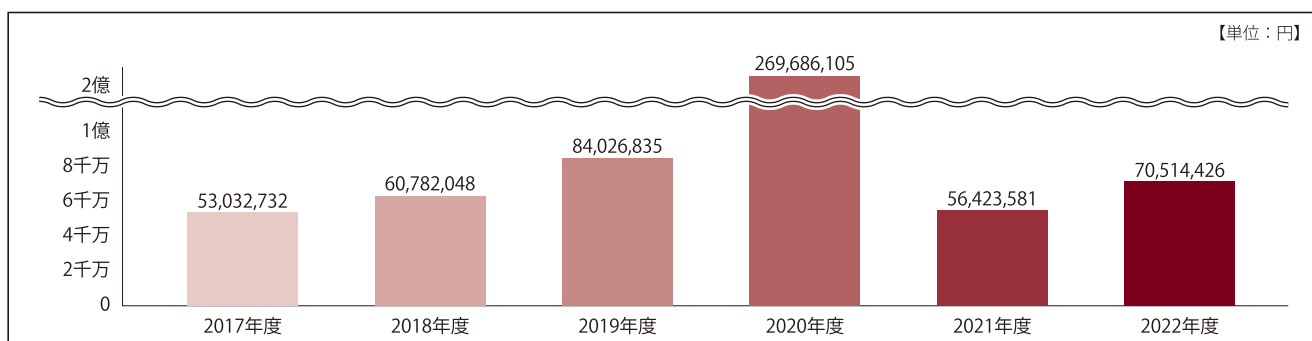
【単位：円】

分 類	寄付項目	金 額
一般寄付	教育振興資金	12,227,838
特別寄付	桃山学院和泉キャンパス新校舎建設寄付金	560,000
	桃山Go Green Project活動に関する支援寄付金	83,000
	桃山学院大学 スタートアップ支援寄付金	474,000
	桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金	1,807,000
	桃山学院 社会貢献活動支援寄付金	48,000
	桃山学院 奨学寄付金	848,020
	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援寄付金	163,000
	その他の	
	施設・設備関係等	7,018,388
	課外活動関係等	2,721,995
	寄付金	35,350,593
現物寄付	図書等	9,212,592



桃山学院大学ビジネスデザイン学部

(イ) 寄付金受け入れ状況の推移 (2017年度～2022年度)



※2017年度は設置者変更にもなう現物寄付を除く。

(ウ) 本学院へのご支援に基づく活動の概況について

①桃山学院 大学・教育大学・高等学校・中学校 教育振興資金…………… 344 件

桃山学院大学 3,024,000 円／ 桃山学院教育大学 154,000 円／ 桃山学院高等学校 5,136,838 円／ 桃山学院中学校 3,913,000 円
各学校の施設整備や既存校舎改修などの教育環境整備等の活動を実施しました。



桃山学院大学



桃山学院教育大学



桃山学院高等学校



桃山学院中学校

②桃山学院和泉キャンパス新校舎建設寄付金…………… 5 件 560,000 円

2024年度の竣工に向けて、建設予定地の地質調査等を実施しました。

③桃山 Go Green Project 活動に関する支援寄付金…………… 5 件 83,000 円

使い捨てカイロを再利用した水質浄化等、環境保全ボランティア活動を実施しました。

④桃山学院 学生・生徒団体等サポート寄付金…………… 70 件 1,807,000 円

体育会系の団体としましては、アメリカンフットボール部、ゴルフ部、硬式野球部、ハンドボール部、水泳部およびアーチェリー部、文化系の団体としましては、よさこい連および吹奏楽部に対してご寄付を賜り、各団体において活動に必要な器具や消耗品の購入等を実施しました。



III. 財務の概要

⑤桃山学院 社会貢献活動支援寄付金 21 件 48,000 円
コロナ禍の中、海外での活動はできませんでしたが、「まなびの森」森林保全のための活動等を実施しました。

⑥桃山学院 奨学寄付金 59 件 848,020 円
成績優秀者や交換留学生支援等のために奨学金の支給を実施しました。

⑦新型コロナウイルス感染症拡大に伴う支援寄付金 9 件 163,000 円
ノートパソコン・Wi-Fi ルーターの無償貸出等、安心して学ぶための環境整備等を実施しました。



(2) 補助金の状況

経常費補助金など恒常的に交付される補助金の他、以下の施設設備補助金等が交付されました。

【単位：円】

補助金の種類		金 額	単 位
令和 4 年度授業料等減免費交付金		590,768,700	桃山学院大学
		97,742,500	桃山学院教育大学
令和 4 年度私立大学等研究設備整備費等補助金	私立高等学校等 ICT 教育設備整備推進事業費	15,162,000	桃山学院高等学校
		3,214,000	桃山学院中学校
令和 4 年度学校保健特別対策事業費補助金	学校等における感染症対策等支援事業	1,350,000	桃山学院高等学校
		675,000	桃山学院中学校
令和 4 年度大阪府私立学校物価高騰対策一時支援金		732,000	桃山学院高等学校
		240,000	桃山学院中学校
令和 4 年度金沢市修学旅行等及び学生合宿誘致推進事業		616,000	桃山学院中学校
令和 4 年度高島市団体客誘致支援助成金		403,000	桃山学院中学校

(3) 有価証券の状況

(ア) 総括表

【単位：円】

種 類	当年度（令和5年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	1,800,000,000	1,805,253,600	5,253,600
（うち満期保有目的の債券）	（ 1,800,000,000 ）	（ 1,805,253,600 ）	（ 5,253,600 ）
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	5,106,694,740	4,893,542,290	△213,152,450
（うち満期保有目的の債券）	（ 5,106,694,740 ）	（ 4,893,542,290 ）	（ △213,152,450 ）
合計	6,906,694,740	6,698,795,890	△ 207,898,850
（うち満期保有目的の債券）	（ 6,906,694,740 ）	（ 6,698,795,890 ）	（ △ 207,898,850 ）
時価のない有価証券	19,000,000		
有価証券合計	6,925,694,740		

(イ) 明細表

【単位：円】

種 類	当年度（令和5年3月31日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	6,906,694,740	6,698,795,890	△ 207,898,850
株式	—	—	—
投資信託	—	—	—
貸付信託	—	—	—
合計	6,906,694,740	6,698,795,890	△ 207,898,850
時価のない有価証券	19,000,000		
有価証券合計	6,925,694,740		

(4) 借入金の状況

借入金はありません。

(5) 学校債の状況

学校債はございません。

(6) 収益事業の状況

収益事業は行っていません。

(7) 関連当事者との取引の状況

(ア) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次のとおりです。

【単位：円】

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員等の兼任等	事実上の関係				
理事	山田 陽彦	—	—	—	—	—	法務 アドバイス	法務アドバイス料の支払（注1）	1,980,000	管.支払手数料支出	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）学内各種委員会等の法務アドバイス料については、専門性に加え、顧問弁護士との過去の契約金額実績を勘案した上で決定しています。

(イ) 学校法人の出資による会社に係る事項

当学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社の状況は次のとおりです。

名称	株式会社アンデレパートナーズ			
事業内容	建物内外の保守管理・清掃業務、警備業及び情報処理の運用管理支援等			
出資金	9,000,000円	90株		
学校法人の出資状況	9,000,000円	90株	総出資金額に占める割合 100%	
出資の状況	平成28年3月15日	9,000,000円	90株	
当期中に学校法人が受け入れた配当及び寄附の金額並びに学校法人との資金、取引等の状況	【単位：円】			
	当該会社からの受入額		特別寄付金 賃借料等 出向者給与	15,000,000 3,435,580 5,100,000
	当該会社への支払額		業務委託費等	756,873,467
	【単位：円】			
		期首残高	資金支出等	資金収入等 期末残高
	当該会社への出資金等	9,000,000	0	0 9,000,000
	当該会社への未払金	7,187,906	7,187,906	23,867,000 23,867,000
	当該会社への未収入金	0	31,300	0 31,300
保証債務	学校法人は当該会社について債務保証を行っていない。			

(8) 学校法人間の財務取引

学校法人間取引は行っておりません。

8. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本学院は連続貸借対照表の概況でも述べたとおり、ストックの面で安定した経営状況であるといえます。一方、フローの面でも2021年度からの桃山学院大学・桃山学院教育大学のそれぞれの入学定員数増や2022年度には桃山学院大学ビジネスデザイン学部が完成年度を迎えたことにより、学生生徒等納付金が増加し、2022年度の経常収支差額比率は2.2%を計上するなど安定した収支状況となりました。

しかしながら、課外活動や留学支援など未だコロナ禍前の水準まで事業規模を回復できなかった業務が存在したこと、昨今のエネルギー価格の高騰および物価上昇などコスト増につながる要因を勘案すると現在の収支状況が十分な水準にあるとはいえない状況です。

そのため、業務の効率化を更に進め、教育の質を保証しつつ、可能な限りの経費削減に取り組むだけでなく、補助金や寄付金など外部資金の獲得にも取り組み、収入・支出両面で収支構造を見直し、安定した財務基盤の確立に繋げてまいります。



IV. データで見る桃山学院

IV.データで見る桃山学院

1. 入学定員・収容定員・入学者数・在籍者数 (2022年5月1日現在)

学 部	学 科	入学定員(名)	収容定員(名)	1年次	2年次	3年次	4年次	入学者数	編・転入学者数	在籍者数
桃山学院大学	国際教養 英語・国際文化	275	1,100	275	275	275	275	237	11	1,130
	社会 社会	260	1,040	260	260	260	260	285	9	1,098
	社会 ソーシャルデザイン	100	400	100	100	100	100	88	4	397
	法 法律	200	800	200	200	200	200	209	2	829
	経済 経済	360	1,440	360	360	360	360	377	5	1,513
	経営 経営	295	1,040	295	295	225	225	318	10	1,117
	ビジネスデザイン ビジネスデザイン	200	540	200	200	70	70	202	—	567
	計	1,690	6,360					1,716	41	6,651
交換留学生		—	—	—				—	—	26

※2019年度 経営学部ビジネスデザイン学科開設
 ※2021年度 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)
 ※2022年度 社会学部学科名称変更(社会学部学科→ソーシャルデザイン学科)(2年次以上は社会学部学科)

研究科	専 攻	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数	在籍者数
桃山学院大学 大学院 博士前期課程	文学 言語・文化	10	20	2	5
	社会学 応用社会学	10	20	6	14
	経済学 応用経済学	10	20	8	15
	経営学 経営学	10	20	9	20
	計	40	80	25	54
	交換留学生	—	—	—	1
桃山学院大学 大学院 博士後期課程	研究生	—	—	—	4
	文学 比較文化学	4	12	0	0
	社会学 応用社会学	3	9	0	7
	経済学 応用経済学	3	9	1	13
	経営学 経営学	3	9	0	2
	計	13	39	1	22
研究生		—	—	—	0

学 部	学 科	入学定員(名)	収容定員(名)	1年次	2年次	3年次	4年次	入学者数	編・転入学者数	在籍者数
桃山学院教育大学	人間教育 人間教育	270	890	270	270	175	175	247	1	847

※2020年度 教育学部教育学科名称変更(教育学部教育学科→人間教育学部人間教育学科)

課程・学科	入学定員(名)	収容定員(名)	入学者数	在籍者数
桃山学院中学校	120	360	122	358
桃山学院高等学校	760	2,280	688	1,950

2. 収容定員充足率 (毎年度5月1日現在)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
桃山学院大学	109.4%	107.8%	104.2%	104.4%	104.6%
桃山学院大学大学院/博士前期課程	47.5%	46.3%	48.8%	56.3%	67.5%
桃山学院大学大学院/博士後期課程	28.2%	33.3%	33.3%	48.7%	56.4%
桃山学院教育大学	87.5%	93.3%	95.1%	97.7%	95.2%

3. 入試状況 (2019年度～2023年度入試)

■ 桃山学院大学 <全制度合計(編・転入学除く)>

学部	学科	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	学部	学科	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
国際 教養	英語・ 国際文化	募集人員	275	275	275	275	経営	経営	募集人員	225	225	295	295	295	
		志願者数	3,391	4,120	2,124	1,700			1,252	志願者数	4,276	4,263	3,354	3,110	1,995
		受験者数	3,340	4,021	2,076	1,645			1,209	受験者数	4,216	4,191	3,265	3,058	1,963
		合格者数	960	1,269	1,153	1,254			1,105	合格者数	663	929	1,154	926	889
		倍 率	3.5	3.2	1.8	1.3			1.1	倍 率	6.4	4.5	2.8	3.3	2.2
		入学者数	285	303	284	237			242	入学者数	224	218	325	318	359
社会	社会	募集人員	260	260	260	260	260	ビジネス デザイン ※2	ビジネス デザイン	募集人員	70	70	200	200	200
		志願者数	3,975	4,116	2,622	2,859	1,673			志願者数	486	317	1,623	899	769
		受験者数	3,902	4,044	2,557	2,805	1,636			受験者数	470	285	1,566	872	749
		合格者数	771	1,079	1,118	1,135	1,086			合格者数	158	145	975	763	655
		倍 率	5.1	3.7	2.3	2.5	1.5			倍 率	3.0	2.0	1.6	1.1	1.1
		入学者数	253	248	295	285	297			入学者数	79	73	221	202	173
社会	ソーシャル デザイン ※1	募集人員	100	100	100	100	100	合計	合計	募集人員	1,490	1,490	1,690	1,690	1,690
		志願者数	1,371	1,094	525	377	452			志願者数	22,909	23,110	15,682	14,396	9,903
		受験者数	1,349	1,064	505	350	437			受験者数	22,516	22,602	15,278	14,061	9,675
		合格者数	403	416	410	303	376			合格者数	4,877	6,493	7,608	7,176	6,675
		倍 率	3.3	2.6	1.2	1.2	1.2			倍 率	4.6	3.5	2.0	2.0	1.4
		入学者数	109	88	101	88	94			入学者数	1,528	1,476	1,825	1,716	1,752
法	法律	募集人員	200	200	200	200	200	※1 2022年度 社会福祉学科より名称変更。 ※2 2021年度 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置（経営学部ビジネスデザイン学科より改組）							
		志願者数	3,125	3,425	1,646	1,901	1,203								
		受験者数	3,072	3,345	1,613	1,856	1,178								
		合格者数	766	992	1,000	1,134	1,030								
		倍 率	4.0	3.4	1.6	1.6	1.1								
		入学者数	211	191	199	209	209								
経済	経済	募集人員	360	360	360	360	360								
		志願者数	6,285	5,775	3,788	3,550	2,559								
		受験者数	6,167	5,652	3,696	3,475	2,503								
		合格者数	1,156	1,663	1,798	1,661	1,534								
		倍 率	5.3	3.4	2.1	2.1	1.6								
		入学者数	367	355	400	377	378								



■ 桃山学院大学大学院 <全入試制度合計（秋入学除く）>

研究科・課程		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	研究科・課程		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
文学	博士前期	募集人員	10	10	10	10	経済学	博士前期	募集人員	10	10	10	10
		志願者数	4	3	7	2			志願者数	8	8	12	16
		受験者数	4	3	7	2			受験者数	8	8	12	15
		合格者数	2	2	3	2			合格者数	4	7	8	9
		倍 率	2.0	1.5	2.3	1.0			倍 率	2.0	1.1	1.5	1.7
	博士後期	入学者数	0	2	2	2		博士後期	入学者数	2	5	5	8
		募集人員	4	4	4	4			募集人員	3	3	3	3
		志願者数	0	0	0	0			志願者数	0	3	5	1
		受験者数	0	0	0	0			受験者数	0	3	5	1
		合格者数	0	0	0	0			合格者数	0	3	5	1
社会学	博士前期	倍 率	-	-	-	-	経営学	博士後期	倍 率	-	1.0	1.0	1.0
		入学者数	0	0	0	0			入学者数	0	3	5	1
		募集人員	10	10	10	10			募集人員	10	10	10	10
		志願者数	9	12	28	33			志願者数	9	9	17	22
		受験者数	9	11	27	32			受験者数	9	9	15	20
	博士後期	合格者数	7	8	12	8		博士前期	合格者数	4	5	8	11
		倍 率	1.3	1.4	2.3	4.0			倍 率	2.3	1.8	1.9	1.8
		入学者数	6	7	8	6			入学者数	4	3	8	9
		募集人員	3	3	3	3		博士後期	募集人員	3	3	3	3
		志願者数	2	1	3	0			志願者数	2	0	0	0
社会学	博士前期	受験者数	2	1	3	0			受験者数	2	0	0	0
		合格者数	2	1	3	0			合格者数	1	0	0	0
		倍 率	1.0	1.0	1.0	-			倍 率	2.0	-	-	-
		入学者数	2	0	3	0			入学者数	1	0	0	0
		募集人員	40	40	40	40	合計	博士前期	募集人員	40	40	40	40
	博士後期	志願者数	30	32	64	73			志願者数	30	31	61	69
		受験者数	30	31	61	69			受験者数	30	31	61	69
		合格者数	17	22	31	30			合格者数	17	22	31	30
		倍 率	1.8	1.4	2.0	2.3			倍 率	1.8	1.4	2.0	2.3
社会学	博士前期	入学者数	12	17	23	25		博士後期	入学者数	12	17	23	25
		募集人員	13	13	13	13			募集人員	13	13	13	13
		志願者数	4	4	8	1			志願者数	4	4	8	1
		受験者数	4	4	8	1			受験者数	4	4	8	1
		合格者数	3	4	8	1			合格者数	3	4	8	1
	博士後期	倍 率	1.3	1.0	1.0	1.0			倍 率	1.3	1.0	1.0	1.0
		入学者数	3	3	8	1			入学者数	3	3	8	1

■ 桃山学院教育大学 <全制度合計（編・転入学除く）>

学部・学科	課程※2	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
小学校教育	募集人員	75	75	140	140	120
	志願者数	958	1,136	982	696	415
	受験者数	927	1,077	946	684	413
	合格者数	348	427	673	614	363
	倍 率	2.7	2.5	1.4	1.1	1.1
	入学者数	84	81	135	101	101
人間教育・人間教育※1	募集人員	50	50	50	50	30
	志願者数	258	229	143	134	63
	受験者数	251	219	141	130	63
	合格者数	108	137	107	119	54
	倍 率	2.3	1.6	1.3	1.1	1.2
	入学者数	32	32	21	28	23
健康・スポーツ教育	募集人員	50	50	80	80	120
	志願者数	607	555	440	368	296
	受験者数	593	533	422	354	291
	合格者数	220	226	265	281	253
	倍 率	2.7	2.4	1.6	1.3	1.2
	入学者数	77	65	93	118	119
合計	募集人員	175	175	270	270	270
	志願者数	1,823	1,920	1,565	1,198	774
	受験者数	1,771	1,829	1,509	1,168	767
	合格者数	676	790	1,045	1,014	670
	倍 率	2.6	2.3	1.4	1.2	1.1
	入学者数	193	178	249	247	243

※1：2020年度より教育学部教育学科から人間教育学部人間教育学科へ。
 ※2：2021年度より小学校教育コースから小学校教育課程、幼児保育コースから幼児教育課程、健康・スポーツ教育コースから健康・スポーツ教育課程へ。

■ 桃山学院中学校高等学校

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
中学校	募集人員	120	120	120	120	120
	志願者数	553	478	600	564	560
	受験者数	434	345	452	430	418
	合格者数	276	255	283	280	286
	倍 率	1.6	1.4	1.6	1.5	1.5
	入学者数	125	121	124	122	128
高等学校	募集人数	400	400	400	400	400
	志願者数	1,907	2,059	1,660	1,770	1,922
	受験者数	1,891	2,047	1,642	1,729	1,888
	合格者数	1,872	1,985	1,624	1,707	1,868
	倍 率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
	入学者数	606	630	433	575	609



IV. データで見る桃山学院

4. 就職状況 (2022 年度)

■ 桃山学院大学

□実績 (対象：留年生を除く4年次生のみ) (2023年5月11日現在) ※()内は2021年度確定数字

・卒業生数 [a] ……………	1,295名 (1,226名)	・進学者数 [d] ……………	20名 (36名)
・就職希望者数 [b] ……………	1,182名 (1,082名)	（うち、大学院進学者数）	8名 (14名)
・就職決定者数 (自営含む) [c] ……	1,170名 (1,061名)	・就職決定率 (分母：希望者) [c/b]	99.0% (98.1%)
		・就職決定率 (分母：卒業生) [c/a]	90.3% (86.5%)

□主な就職先

【建設業】

(株)浅沼組、住友林業(株)、明星工業(株)、大和ハウス工業(株)、日本電通(株)、奥村組土木興業(株)、積水ハウス(株)、鹿島道路(株)、(株)ミライト・ワン
新菱冷熱工業(株)、日本コムシス(株)、NEC ネットエスアイ(株)、松井建設(株)

【製造業】

シノブフーズ(株)、丸美屋食品工業(株)、山崎製パン(株)、住江織物(株)、永大産業(株)、トーソー(株)、(株)ホギメディカル、(株)サイネックス、竹田印刷(株)
佐川印刷(株)、東和薬品(株)、エスケー化研(株)、科研製薬(株)、(株)十川ゴム、旭コンクリート工業(株)、合同製鐵(株)、丸一鋼管(株)、三協立山(株)、リンナイ(株)
アマノ(株)、THK (株)、日機装(株)、日本トムソン(株)、オリエンタルモーター(株)、アイリスオーヤマ(株)、(株)キーエンス、ホーチキ(株)、極東開発工業(株)

【卸売業】

(株)ドウシシャ、(株)あらた、横浜冷凍(株)、エスフーズ(株)、(株)日本アクセス、(株)スズケン、KISCO (株)、(株)ケーエスケー、アルフレッサ(株)
住商メタルワン鋼管(株)、JFE 商事鉄鋼建材(株)、中山福(株)、サンコーインダストリー(株)、(株)三笑堂、(株)モリタ、(株)日伝、リックス(株)、(株)マルゼン
(株)NaITO、渡辺パイプ(株)、(株)立花エレテック、ナブコドア(株)、ダイワボウ情報システム(株)、(株)カナデン、三菱電機住環境システムズ(株)
(株)クマヒラ、(株)日本アクア、井上定(株)、北恵(株)、(株)スミノエ、チャコット(株)、(株)トヨタユーゼック

【小売業】

コーナン商事(株)、(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)ファミリーマート、(株)パル、(株)ワークマン、(株)しまむら、(株)ロック・フィールド、(株)万代
生活協同組合おおさかバルコブ、(株)関西スーパーマーケット、(株)ライフコーポレーション、上新電機(株)、(株)ニトリ、(株)エディオン
(株)ヤマダホールディングス、(株)ヨドバシカメラ、愛眼(株)、(株)コスモス薬品、(株)パルミキ、ウエルシア薬局(株)

【金融・保険業】

(株)中京銀行、(株)滋賀銀行、(株)南都銀行、(株)紀陽銀行、(株)池田泉州銀行、(株)関西みらい銀行、(株)徳島大正銀行、尼崎信用金庫、大阪シティ信用金庫
大阪信用金庫、(株)オリエントコーポレーション、奈良県農業協同組合、大阪泉州農業協同組合、岩井コスモ証券(株)、オリックス生命保険(株)

【不動産業】

近鉄不動産(株)、住友不動産販売(株)

【運輸・通信業】

(株)サカイ引越センター、鴻池運輸(株)、NX・NP ロジスティクス(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)日立物流西日本、センコー(株)、日本通運(株)、山九(株)、日本郵便(株)

【教育・マスコミ・公益・その他サービス業】

千葉県教育委員会、大阪府教育庁、(株)学情、(株)リクルート、(株)ヴィッツ、(株)ソフトウェア・サービス、日本システム技術(株)、コンピューターマネージメント(株)
(株)アイル、日本情報産業(株)、セントラル警備保障(株)、NECネクサソリューションズ(株)、(株)マイナビ、富士ソフト(株)、総合警備保障(株)、(株)ニッセイコム
(株)富士通エフサス、SCSK Minoriソリューションズ(株)、(株)カナモト、ワタキューセイモア(株)、小山(株)、(株)ワキタ、西尾レントオール(株)、
アビリティーズ・ケアネット(株)、サコス(株)

【医療・福祉関係】

(福)聖隷福祉事業団、(社)医)ペガサス、日本赤十字社、(株)ベネッセスタイルケア、(福)四恩学園、(福)大阪市社会福祉協議会、(福)おとし福祉会、
(福)大阪府障害者福祉事業団、(福)大阪福祉事業財団、(株)ケア 2 1、(福)みおつくし福祉会、(福)大阪府社会福祉事業団、SOMPOケア(株)
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構

【公務】

国家公務員 (一般職)、国税専門官、自衛隊、法務省専門職員、大阪府庁、和歌山県庁、香美市役所、熊野市役所、京都市役所、大阪府役所
堺市役所、岸和田市役所、和泉市役所、東大阪市役所、大阪狭山市役所、奈良市役所、和歌山市役所、那覇市役所、警視庁、福井県警察本部
愛知県警察本部、大阪府警察本部、兵庫県警察本部、和歌山県警察本部、広島県警察本部、熊本県警察本部、大阪市消防局、東大阪市消防局
広島市消防局、堺市消防局

■ 桃山学院教育大学

□実績 (対象：留年生を除く4年次生のみ) (2023年5月11日現在) ※()内は2021年度確定数字

・卒業生数 [a] ……………	182名 (162名)	・進学者数 [d] ……………	3名 (3名)
・就職希望者数 [b] ……………	175名 (153名)	（うち、大学院進学者数）	3名 (1名)
（うち、就職希望者数）[a] ……	92名 (71名)	・就職決定率 (分母：希望者) [c/b]	98.9% (100.0%)
・就職決定者数 (自営含む) [c] ……	173名 (153名)	・就職決定率 (分母：卒業生) [c/a]	95.1% (94.4%)
（うち、就職決定者数）[β] ……	88名 (71名)	・就職決定率 (分母：希望者) [β/a]	95.7% (100.0%)

□主な就職先

【教職】

大阪府公立小学校教諭、大阪府公立中学校教諭、大阪市公立小学校教諭、大阪市公立中学校教諭、堺市公立小学校教諭、和歌山県公立小学校教諭
北海道公立小学校教諭、東京都公立小学校教諭、千葉県公立小学校教諭、川崎市公立小学校教諭、川崎市公立支援学校教諭、横浜市公立小学校教諭
横浜市公立中学校教諭、愛知県公立小学校教諭、鳥取県公立小学校教諭、愛媛県公立小学校教諭、高知県公立小学校教諭、香川県公立小学校教諭
北九州市公立小学校教諭、北九州市公立支援学校教諭、長崎県公立小学校教諭、宮崎県公立中学校教諭、大分県公立小学校教諭
公立幼稚園講師 (大阪市)、公立小学校講師 (大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神奈川県、沖縄県)、公立中学校講師 (大阪府、大阪市、堺市)
公立学校養護助教諭 (大阪府)、私立学校教諭・講師 (石見智翠館高等学校、金剛学園、建国中学校・高等学校
智辯学園奈良カレッジ中学校・高等学校、清明学院高等学校)、
私立学校園養護教諭 (帝塚山幼稚園、京都芸術高校、百合学院高校、済美中学校・高等学校)

【保育・福祉・医療関係】

(社)大阪児童福祉事業協会清心寮、(社)博愛社博愛社こども園、(社)相愛会なかもずこども園、(社)プティストハートしあわせの丘こども園



(社福)あゆみ会アンパス保育園、(社福)風の馬、(社福)阪南福祉事業会、(社福)共同保育の会上野芝陽だまり保育園、(社福)ちぐさの森おとり保育園
(社福)大地福祉会遊こども園、(社福)神戸YMCA福祉会YMCAこども園、(学)宝文化学院白鳩幼稚園、(学)清泉会ひばり幼稚園、(学)さつき学園
認定こども園さつき幼稚園、(学)大阪初芝学園はつしば学園幼稚園、(学)長楽寺学園認定こども園こぎ幼稚園、(学)川口聖マリア幼稚園

【企業等】

大鉄工業(株)、三星産業(株)、明星工業(株)、山崎製パン(株)、セッツ(株)、フジモトホールディングス(株)、(株)タブチ、リコージャパン(株)
トヨタカローラ南海(株)、スターバックスコーヒージャパン(株)、ウエルシア薬局(株)、(株)ジーユー、(株)SHIPS、大阪信用金庫、(株)徳島大正銀行
(株)ミライト・ワン、間口ホールディングス(株)、佐川グローバルロジスティクス(株)、幼児活動研究会(株)、(株)東京個別指導学院
日研トータルソーシング(株)、(株)エイジェック、(株)エーエージェント、アサヒサンクリーン(株)、(株)郵宣企画、(株)アプティ、(株)ベネッセスタイルケア

【公務】

大阪狭山市(事務職)、大阪府警察本部、兵庫県警察本部、和歌山市職員(消防士)、和泉市職員(消防職A)、広島市職員(消防)、堺市職員(保育教諭)
大和高田市(保育士・幼稚園教諭)、藤井寺市職員(保育士)、御殿場市職員(保育士)、岸和田市職員(保育士)、河南町(保育士)、香芝市職員(保育士)
大分市職員(保育教諭)、航空学生(海上要員)、海上保安官(幹部)、海上自衛隊

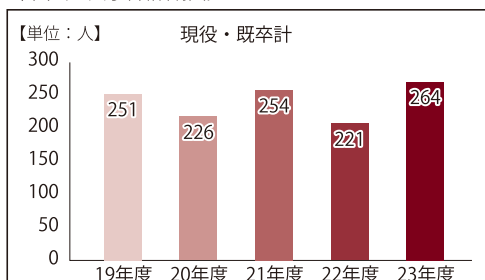
5. 大学入試合格状況 (2023 年度入試)

■ 桃山学院高等学校

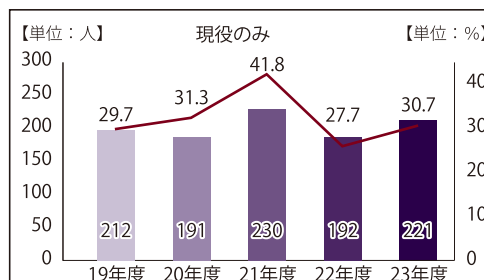
※合格者数は延べ数で表記 (2023 年 4 月 8 日現在)

大学名	S英数/英数/文理/国際コース (16クラス)			中高一貫コース (3クラス)			総 計	
	現役	既卒	合計	現役	既卒	合計	現役	既卒
国公立大学 合計	191	39	230	30	4	34	221	43
東京大		1	1					1
京都大	1	3	4		1	1	1	4
大阪大	7	6	13	3		3	10	6
北海道大	1	2	3	1		1	2	2
名古屋大				1	1	2	1	1
九州大				1		1	1	
神戸大	16	4	20	1		1	17	4
大阪教育大	16	1	17	3		3	19	1
京都工芸繊維大	3		3	1		1	4	
和歌山大	25	3	28	1		1	26	3
奈良女子大	2	1	3				2	1
広島大	3		3				3	
高知大(医-医)		1	1					1
大阪公立大	36	6	42	5	1	6	41	7
奈良県立大	6		6	2		2	8	
その他の国公立大	75	11	86	11	1	12	86	12
私立大学 合計	1,312	126	1,438	339	11	350	1,651	137
関西大	169	16	185	21		21	190	16
関西学院大	119	5	124	32	1	33	151	6
同志社大	77	34	111	2	2	4	79	36
立命館大	92	22	114	41		41	133	22
京都産業大	14		14	5		5	19	
近畿大	270	19	289	106	1	107	376	20
甲南大	37		37	7		7	44	
龍谷大	104	5	109	24	2	26	128	7
早稲田大	6	1	7		1	1	6	2
慶応義塾大	4		4				4	
東京理大	1	3	4	1		1	2	3
立教大	10	1	11	5		5	15	1
桃山学院大	36		36	5		5	41	
桃山学院教育大	1		1	1		1	2	
その他の私立大	372	20	392	89	4	93	461	24
各省庁所管の大学校 合計	2		2				2	
防衛医科大学校	1		1				1	
防衛大学校	1		1				1	
海外大学 合計	4		4				4	
University of Illinois	アメリカ	2	2				2	
Albright College	アメリカ	1	1				1	
Kent State University	アメリカ	1	1				1	

◆ 国公立大学合格者推移



◆ 国公立大学現役合格率推移



現役国公立大学合格者数
卒業生数

21年度：41.8%	$\frac{230}{550}$
22年度：27.7%	$\frac{192}{692}$
23年度：30.7%	$\frac{221}{721}$



IV. データで見る桃山学院

6. 国際交流 (2022 年度)

■ 桃山学院大学

国・地域	海外学術交流協定 大学数・機関数※1 (2023年3月現在)	海外留学 派遣者数※2 (桃山学院大学→海外)	外国人留学生 受入数※3 (海外→桃山学院大学)	国・地域	海外学術交流協定 大学数・機関数※1 (2023年3月現在)	海外留学 派遣者数※2 (桃山学院大学→海外)	外国人留学生 受入数※3 (海外→桃山学院大学)
中国	6		222	英国	4	2	
韓国	5	11	14	ドイツ	5	2	5
台湾	4	3	24	フランス	2		11
マレーシア	1		1	オランダ	1	8	3
ベトナム	3	6	19	オーストリア	2	2	
インドネシア	2	4	7	チェコ	1		1
フィリピン	2	3		ポーランド	1		
タイ	1	4	2	ロシア	1		3
インド	1		1	イタリア	2	2	
シンガポール		2		スペイン	2	1	1
ミャンマー			3	フィンランド	2	1	2
カンボジア	1			中 東	1		
オーストラリア	2	3		トルコ			
ニュージーランド	1			合 計	64	74(16)	319(242)
北 米				※()内は2021年度実績			
米国	7	2					
カナダ	4	18					

※1:新規協定校のうち、2大学(タイ1、フィリピン1)は学内手続き(国際化推進会議承認)終了済、協定書締結作業中。

※2:各種留学・短期海外研修・海外インターンシップ、国際ボランティア等の派遣先国・地域(オンライン含む)

※3:正規課程留学生(在留資格申請中の者を含む)の出身国・地域、交換留学生・日本語プログラム研修生の派遣元大学の国・地域

■ 桃山学院教育大学 (2023 年 3 月現在)

<海外学術交流協定大学数・機関数>

国・地域	大学・機関数
カンボジア	1
韓国	1
カナダ	1
フィリピン	1
ニュージーランド	2

<海外研修実績>

プログラム名	期 間	派遣先	参加者数
グループ交流プログラム (Language and Culture Corner Program)	①5/17～7/30 ②10/17～11/28	カナダ・ウォータールー大学 レニソン校	①7名 ②2名
オンライン韓国語プログラム	8/8～8/19	韓国・聖公会大学校	1名
マンツーマン英会話プログラム	夏季休暇 (2～4週間)	フィリピン中央大学提携 語学学校	1名
ヒューム先生と英語を楽しもう (セミプライベートレッスン)	前期・後期 (3～4ヶ月)	学内	前期12名 後期5名
フィリピン研修	2023/2/5～2/18	トリニティ大学(ケソン市)	3名
カンボジア研修	2023/2/18～2/26	プノンペン、シェムリアップ	7名

■ 桃山学院中学校高等学校

<海外留学・海外研修実績>

対 象	プログラム名	期 間	派遣先	参加者数
文理コース・S英数コース・英数コース	米国聖公会関係学校交換留学制度	2022.8月～1年間	米国(テキサス州)	1名
	カナダ語学研修	中止※	-	-
	マレーシア研修	中止※	-	-
国際コース	カナダ短期留学	7/10～7/31	カナダ(バンクーバー)	29名
	アジア研修	中止※	-	-
	カナダ長期留学	2023.1月～1年間	ノバスコシア州・オンタリオ州・BC州	23名

※新型コロナウイルス感染症のため

<受入実績>

種 別	国・地域	期 間	受入人数
米国聖公会関係学校交換留学留学生	アメリカ	中止(2021.8～2022.7)	0
正規課程留学生	中国	中止(2022年度受入中止)	0

7. 学費・諸納付金 (2022 年度)

	項 目	金 額
桃山学院大学 (※1)	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科を 除く全学部学科	入学金 230,000円 入学年度のみ
		授業料 729,000円 年額
		施設費 300,000円 年額
	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科	入学金 230,000円 入学年度のみ
		授業料 729,000円 年額
		施設費 240,000円 年額
桃山学院大学大学院 (※2・3)		入学金 300,000円 入学年度のみ
		授業料 525,000円 年額
		施設費 200,000円 年額
桃山学院教育大学 (※4)		入学金 230,000円 入学年度のみ
		授業料 800,000円 年額
		施設設備費 175,000円 年額
		教育充実費 175,000円 年額
桃山学院中学校 (※5)		入学金 200,000円 入学年度のみ
		授業料 620,000円 年額
桃山学院高等学校 (※6)		入学金 200,000円 入学年度のみ
		授業料 620,000円 年額

- ※1 その他委託徴収金として、教育後援会費、同窓会会費があります。
 ※2 各研究科博士前期課程(修士課程)は単位制学費の選択が可能です(社会人のみ)。
 ※3 その他委託徴収金として、同窓会会費があります。
 ※4 その他委託徴収金として、後援会費、学生会費、学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険があります。
 ※5 その他徴収費として、PTA会費、生徒会費、体験学習費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。
 ※6 その他徴収費として、PTA会費、自治会費、修学旅行費、学年共同費、副教材・制服等の学校指定用品等があります。

V. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済支援・学習環境等支援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けまして、各設置校においては、学生・生徒その他関係者の皆様の健康と安全を確保しつつ、教育の機会および質を維持するため、各キャンパス内の学習環境整備ならびに経済的な支援等を行いました。

1. 桃山学院大学

【春学期】

2021年度同様、「新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じたうえで、全ての授業を原則対面授業(250名以上の科目と後述の完全オンデマンド型科目等を除く)」とする方針を定め、復習の材料を提供するため、授業は録音または録画し、OneDrive等に掲出しました。そして2020年度・2021年度の総括を踏まえ、実験的に一部に遠隔授業を取り入れました。履修者が大人数になると予想される科目は、開講時限を土曜日に配置し、完全オンデマンド型とし、各学科の一部専門科目を実験的に同時双方向型としました。なお、学生においては従来の「遠隔出席変更届(基礎疾患や感染不安等の理由で、対面授業を遠隔で出席することを申請するもの)」を廃止しました。同時に、出席が成績評価に繋がるような授業内課題を与えることで、学修効果を高めるとともに学生の出席への動機づけを図り、対面授業の価値をコロナ禍前より高めるよう取り組みました。

【秋学期】

春学期に同じ。

<キャンパス内での感染予防への取り組み>

キャンパス入構時の検温／エレベーターの利用制限／授業中の3密回避／教室入室時の消毒／換気の徹底／教室、トイレ等の消毒・除菌・清掃／飛沫防止パーテーション・ボードの設置／マスクおよびフェイスシールドの着用／窓口・事務室の衛生管理／パソコン自習室(実習室)の衛生管理／図書館の衛生管理／キャンパ



ス内飲食スペースの衛生管理／「新しい生活様式」を踏まえた課外活動／入学式・卒業式を2部制で実施

<経済支援>

- ①授業料減免制度:申請要件の緩和
- ②教育ローン利子補給奨学金:給付期間延長
- ③通信機器の無償貸出(要申込):ノートパソコン、モバイルWi-Fiルーターの無償貸出
- ④Microsoft 365の無償提供:Microsoft 365のアプリが無償で利用可能
- ⑤コロナ禍の厳しい経済環境を配慮し、学費納入期限を通常よりも延長

<学習環境等支援>

(1) 学びに関する取り組み

- ①本学専用教科書販売Webサイトを通じた教科書のオンライン販売をしました。
- ②学生向け授業用ポータルサイト「M-Port」での授業等に関する質問や疑問がある場合のQ&Aを公開しました。
- ③Microsoft365の無償利用案内:本学学生は1人につき、個人で所有するPC、スマートフォン、タブレットの各5台ずつ、計15台まで、Word、Excel、PowerPoint、Teamsなどの「Microsoft 365」の各種アプリを無償で利用できることを案内しました。
- ④2021年度に引き続き、学内でも遠隔授業が受講できるよう、通信環境と教室を整備しました。
- ⑤新入生の学生生活にかかる不安を解消するため、各学部・学科において「桃山スタートアップ」を実施しました。

(2) 教育に関する取り組み

- ①教員向け遠隔授業に関するサポートデスク:2021年度に引き続き、対面授業の録音・録画方法や、遠隔授業で利用するツールの操作サポートを含む技術面の支援、遠隔授業に関する手法やコンテンツの作成方法等のソフト面の支援を行いました。
- ②遠隔授業等に関する教員用・学生用のQ&Aを公開しました。
- ③オンデマンド授業に関するFD研修会をオンラインおよびオンデマンド配信で実施しました。

＜各活動における取り組み＞

(1) キャリア形成・就職支援

2020年度より新たに開始した、キャリア形成支援や就職支援に関する取り組みを継続しています。

- ① 将来のことや就職活動の電話相談
- ② Webでの就職面談
- ③ 就職活動に役立つ動画等の配信
- ④ オンラインを活用した企業説明会



(2) 学生生活支援

- ① 春学期にクラブ・サークル対象の新入生勧誘イベントを開催しました。
- ② 1年次生に対する学生生活サポート：履修方法やカリキュラム、学生生活などに関する説明、キャンパスツアーや学生交流などを学部ごとで行いました。
- ③ 「何でも相談コーナー」を開設：2021年度に引き続き、大学生活や勉強等の不安・相談を、学生スタッフがオンライン面談やTwitter上で回答するサービスを提供しています。
- ④ 2022年4月から2023年1月に「100円朝食キャンペーン」、2022年9月から2023年1月に「大学同窓会の100円弁当」および12月に「ひとり暮らし学生のための年末『食』支援プロジェクト」として、480名を対象に支援を行いました。
- ⑤ 「ももフィルム」および「ももログ」：学生のキャンパスライフや課外活動が大きく制限されたことを受け、2020年度より、SNSでキャンパスに通う学生たちの姿を写真で配信するとともに、クラブ活動や特技をもつ学生たちの活動を動画配信しました。
- ⑥ 学生相談室のカウンセラー(臨床心理士)との相談に、オンラインも選択できるようにしました。



(3) 国際交流等

- ① コロナによる経済的影響にも配慮し、オンラインを活用したプログラム(オンライン語学留学、アプリを活用した英語力向上プログラム)や国内実施プログラム(グローバルインターンシップ京都)を新規実施しました。
- ② 交換留学、語学留学に加え、短期海外研修の派遣を再開しました。
- ③ 安心・安全に配慮しつつ、交換留学生の受け入れを再開しました。
- ④ 留学生の受け入れ再開に伴い、Buddyプログラムを再開しました。
- ⑤ 外国語教育センターの英語・日本語学習オンライン課外プログラムを実施しました。



2. 桃山学院教育大学

【第1学期】

対面授業とオンライン授業を組み合わせで開講しました。オンライン授業では、以下の2つのパターンを使い分けながら授業を行いました。

- ・教材配布型：授業資料を配布し、課題を提示。その後、フィードバックを行う。
- ・オンデマンド型：録画・録音した授業を配信し、受講者が視聴。

【第2学期】対面授業とオンライン授業を組み合わせで開講しました。

＜キャンパス内での感染予防への取り組み＞

キャンパス入構時の検温／入構記録の実施／エレベーターの利用制限／授業中の3密回避／教室入室時の消毒／換気の徹底／教室、トイレ等の消毒・除菌・清掃／マスクおよびフェイスシールドの着用／窓口・事務室の衛生管理／パソコン自習室(実習室)の衛生管理／図書館の衛生管理／キャンパス内飲食スペースの衛生管理／「新しい生活様式」を踏まえた課外活動



＜経済支援＞

- ① 授業料減免制度：家計が急変し、授業料の納付が困難となった学生を対象とした独自支援を継続実施しました。
- ② 通信機器の無償貸出(要申込)：ノートパソコン、モバイルWi-Fiルーターの無償貸出

＜学習環境等支援＞

(1) 学びに関する取り組み

- ① 担任制による個別支援：どんな些細なことでも、不安なことなどがあればチューターへ相談する体制を組んでおり、チューターが中心となって、学生にきめ細かな対応を実施しました。
- ② 本学では従来から教学においてICT(情報通信技術)の活用を推進。学生・教職員が円滑に対応できるようサポートマニュアル(学生向け・教員向け)冊子を作成し、全員に配付。また、学内組織「ICT教育ワーキンググループ」を設置し、直面する課題に適宜対応することで、ICTの活用を更に推進しました。
- ③ 教科書のオンライン販売開始。
- ④ 授業等についてのFAQを大学Webサイトおよび学生向け授業用ポータルサイト「Universal Passport」に公開しました。

(2) 教育に関する取り組み

教員向け遠隔授業に関するサポートデスク：2021年度に引き続き、対面授業の録音・録画方法や、遠隔授業で利用するツールの操作サポートを含む技術面の支援、遠隔授業に関する手法やコンテンツの作成方法等のソフト面の支援を実施しました。

＜各活動における取り組み＞

(1) 学生生活支援

新入生に向けた全クラブ・同好会の勧誘・活動紹介等の動画を「新入生ガイダンス」内で上映。紹食堂前に各クラブ紹介チラシコーナーを設置しました。

(2) 国際交流等

- ① 交流協定校とオンラインによる交流プログラム(マンツーマンおよびグループ)を実施しました。
- ② オンラインによる夏季短期英語プログラムを実施しました。
- ③ チャプレン補による英会話レッスン(対面)を実施しました。
- ④ 新型コロナウイルスの感染動向および社会情勢等を踏まえ、2023年2月に派遣留学(フィリピン研修：参加学生3名、引率なし、カンボジア研修：参加学生7名、引率2名)を再開しました。

3. 桃山学院中学校高等学校

分散登校や短縮授業は行わず通常形態での教育活動を継続しました。但し、ご高齢の方や基礎疾患をお持ちの方と同居されており、感染にご不安がある場合には担任または学年主任まで相談してもらおうようにしました。

<キャンパス内での感染予防への取り組み>

入試実施期間等必要に応じて体調確認シート／マスクの着用／昼食時は前を向いて静かに取る。教員による巡回指導／共用部に消毒液を配置／各教室個人懇談時にはアクリル板を設置／食堂の利用（対面はアクリル板を使用。座席数は約半数）／高校入学式：2部開催（9時～・11時～）、保護者の出席は各家庭1名／中学入学式：ダビデジムにおいて、14時～開催、保護者の出席は各家庭2名／高校卒業式：1部開催（9時～）LIVE配信、保護者の出席は各家庭2名／中学卒業式：（10時～）録画配信、保護者の出席制限無



③文化祭は、保護者及びご家族の皆様のみ参加可能（学外者は無し）で9/9～10で開催しました。

(3) 修学旅行

- ①高2修学旅行は、予定通り（北海道方面、沖縄方面）7/4～8で実施しました。
- ②高2一貫コース修学旅行は、予定通り（イギリス）12/11～18で実施しました。
- ③中学3年修学旅行は、予定通り（関東方面）10/31～11/4で実施しました。
- ④高校3年修学旅行「アスリート」は、台湾2/22～24で実施しました。

(4) PTA活動

4月総会は中止、5月総会は6月に延期しました。その他はほぼ予定通り開催しました。

<学習環境等支援>

(1) 学びに関する取り組み

- ①出席停止となる生徒には授業のライブ配信を実施しました。
- ②感染リスクの高い教育活動は実施しないようにしました。
 - ・音楽：室内で児童生徒等が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏
 - ・家庭・技術・家庭：児童生徒等同士が近距離で活動する調理実習
 - ・図画工作、美術や工芸等：児童生徒等同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動
 - ・理科：児童生徒等同士が近距離で活動する実験や観察
 - ・体育、保健体育：児童生徒等が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動
- ③生徒の家庭に高齢者がいるなどで保護者からの要望があった場合は授業をライブ配信しました。
- ④応用力を強化する希望制・講座選択制の講習「M1ゼミ」については、感染予防を徹底し実施しました。
- ⑤オンラインでの進路指導を実施しました。
- ⑥感染予防を徹底し、ハイレベル模試（京大・阪大）の校内受験を実施しました。

(2) 留学に関する取り組み

- ①国際コース短期留学は、予定通り7月に実施しました。
- ②国際コース長期留学は、予定通り1月末に、カナダに出発しました。
- ③ニュージーランド語学研修（中3希望者）は、予定通り3月に実施しました。
- ④国際コースアジア（台湾）研修は、実施できませんでした。
- ⑤カナダ語学研修（高2修学旅行）は、実施できませんでした。
- ⑥マレーシア研修（高1希望者）は、実施できませんでした。

(3) 教育に関する取り組み

オンライン授業についての意見交換を、教科会議内で実施しました。

(4) その他の取り組み

学級会はオンライン開催、学級懇談会（保護者との三者面談）はオンラインでも実施しました。

<各活動における取り組み>

(1) クラブ活動

『府立学校における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル「部活動に関する留意事項」』に準じて行いました。

(2) 体育祭・文化祭

- ①高校体育祭（6/13）は大阪城ホールにおいて実施し、無観客・ライブ配信しました。
- ②中学体育祭（6/18）は本校グラウンドにおいて実施し、3年生保護者（各家庭2名以内）のみの観覧としました。

法人事務局

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



桃山学院大学

和泉キャンパス

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1



あべのBDL (ビジネスデザイン・ラボ)

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-57



桃山学院教育大学

堺キャンパス

〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台 4-5-1



桃山学院中学校高等学校

昭和町キャンパス

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 3-1-64

